令和７年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（３名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	中本（なかもと）　信子（のぶこ）	広島市 南区	同氏は、昭和 20 年（1945 年）8 月 6 日、当時 3 歳のときに山手町で入市被爆した後、広島市役所に入庁し、平成 13 年（2001 年）から、原爆死没者名簿の記帳を始め、核兵器廃絶と世界平和を願い、一人一人丁寧に記帳したいとの思いを込め、25 年連続 25 回にわたり原爆死没者名簿の記帳に尽力している。 同氏のこうした活動は、原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念する本市事業の推進に大きく貢献している。
2	渡部（わたなべ）　和子（かずこ）	広島市 西区	同氏は、故　佐伯敏子氏が長年続けてこられた原爆供養塔の清掃奉仕の思いを受け継ぎ、平成 14 年（2002 年）9 月から 20 年以上にわたり、ほぼ毎日一人で約 2 時間をかけて原爆供養塔の清掃奉仕活動を続け、原爆死没者の供養に尽力している。 同氏のこうした活動は、原爆死没者の慰霊と世界恒久平和を祈念する本市事業の推進に大きく貢献している。
3	近賀（きんが）　ゆかり	広島市 中区	同氏は、豊富な運動量とスピード、１対１に強い安定した守備力をいかし、サッカー女子日本代表のディフェンス陣を牽引する中心選手として、国際 A マッチ通算 100 試合に出場し、平成 23 年（2011 年）に開催された FIFA 女子ワールドカップでの優勝に貢献するなど活躍した。 令和 2 年（2020 年）12 月にサンフレッチェ広島レジーナに入団し、同クラブ初代主将として 3 季務め、国内外で培った技術や経験をチームメイトに伝えるとともに、令和 5 年（2023 年）、令和 6 年（2024 年）には WE リーグカップ連覇を達成するなど、精神的支柱としてチームを牽引した。 令和 7 年（2025 年）5 月に行われた自身の引退試合では 11,879 人を動員し、同クラブの WE リーグシーズン総入場者数記録 60,307 人の更新に貢献した。

［団体］（５団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島市スポーツイベントボランティアの会	広島市 中区 (25 年)	同団体は、広島市内で開催されるスポーツイベントにおいて、来場される観戦者等に対し、案内等の運営支援をボランティアで行っており、平成 12 年（2000 年）に広島市主導により活動を開始した後、市民主体の取組へと発展し、令和 2 年（2020 年）に現在の団体を設立した。 活動開始から 25 年を迎えた現在、広島東洋カープやサンフレッチェ広島の主催試合などで延べ約 1,900 回の運営支援を実施し、延べ約 60,900 人が参加している。 同団体のこうした活動は、イベント主催者からも真摯な取組や向上的な姿勢が高く評価されており、本市における地域のスポーツ・レクリエーション活動の振興に大きく貢献している。
2	東区緑のボランティアの会	広島市 東区 (25 年)	同団体は、東区の豊かな自然環境をいかし、緑と水に親しむ環境づくりを目指すボランティア団体であり、平成 12 年（2000 年）から、環境保全活動や自然の魅力発信などに取り組んでいる。 団体発足以来、ハイキングコースの案内板約 50 基及び樹木銘板約 1,100 枚の設置・保守を行い、散策環境を整備するとともに、ガイドブックやコースマップを作成し、区内外に広く情報発信している。 また、モリアオガエルの卵の観察など市民を対象とした自然観察会や、尾長山や二葉山での地域の小・中学校等の児童・生徒延べ約 1,800 人を対象とした学習支援活動などを通じて、地域に根差した環境教育に取り組んでいる。 同団体のこうした活動は、本市の自然環境の保全及び地域の魅力向上に大きく貢献している。
3	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館被爆体験記朗読ボランティア	広島市 中区 (21 年)	同ボランティアは、平成 17 年（2005 年）3 月から国立広島原爆死没者追悼平和祈念館等において、修学旅行生等を対象に、日本語又は英語で、被爆者やその遺族等が記した被爆体験記や原爆詩の朗読会を行っている。 朗読会は、読み聞かせをするだけでなく、参加者自身が朗読を体験することで、心と言葉により原爆被害の深刻さと平和の大切さを伝えるものとして、好評を得ている。 活動開始から 20 周年を迎え、これまでに延べ 31 万 7 千人を超える方々が参加している。 同ボランティアのこうした活動は、被爆体験の継承及び平和意識の醸成を目指す本市事業の推進に大きく貢献している。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
4	広島市立基町 高等学校普通科 創造表現コース	広島市 中区 (18 年)	同コースは、平成 19 年度（2007 年度）から（公財）広島平和文化センターが実施している「被爆者と高校生との共同制作による『原爆の絵』」事業に、ボランティアとして参画しており、これまでに、延べ 107 名の被爆者から証言を聞き取り、222 点の作品を制作している。 制作した「原爆の絵」は、被爆体験証言者や被爆体験伝承者による講話に活用されているほか、原爆展を開催する全国の自治体や市民団体などに貸し出されている。 同コースのこうした活動は、本市の「被爆の実相を守り、広め、伝える」施策の推進に大きく貢献している。
5	サンフレッチェ 広島レジーナ	広島市 中区 (4 年)	同クラブは、創設 3 年目となる令和 5 年（2023 年）に、初のタイトルとなる WE リーグカップを制し、翌年の同カップを連覇した後、令和 8 年（2026 年）1 月には、皇后杯 JFA 第 47 回全日本女子サッカー選手権大会で初優勝し、3 シーズン連続でのタイトル獲得を成し遂げた。 また、2024-25 シーズンでは、選手が中心となり、試合当日のイベントや演出、地域交流、告知活動などを行う「観客動員 1 万人プロジェクト『自由すぎる女王の大祭典』」を実施し、目標を大きく上回る 20,156 人を動員するなど、WE リーグのクラブ別シーズン最多総入場者数を更新する 60,307 人を記録した。

令和６年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（５名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	黒田（くろだ）　博樹（ひろき）	広島市 中区	同氏は、平成 9 年（1997 年）に広島東洋カープに入団し、最多勝利と最優秀防御率のタイトルを獲得するなどエースとしてチームを牽引し、平成 20 年（2008 年）にアメリカのメジャーリーグ球団に移籍してからも、5 年連続 2 桁勝利を挙げるなど活躍した。 平成 27 年（2015 年）には、広島への強い思いから、メジャーリーグ球団からのオファーを断り、古巣広島東洋カープに復帰、平成 28 年（2016 年）にはプロ野球史上 2 人目となる日米通算 200 勝を達成するとともに、広島東洋カープ 25 年ぶりのリーグ優勝に大きく貢献した。 こうした功績が認められ、令和 6 年（2024 年）1 月に野球殿堂入りを果たした。
2	青山（あおやま）　敏弘（としひろ）	広島県 安芸高田市	同氏は、平成 16 年（2004 年）にサンフレッチェ広島に入団し、平成 24 年（2012 年）、平成 25 年（2013 年）、平成 27 年（2015 年）の J1 リーグ優勝の際にはチームの主力として、精度の高い縦パスや安定感のある守備でチームの勝利に大きく貢献するとともに、3 度目の優勝の際に J1 リーグ MVP を獲得した。 同クラブ最長となる 21 年という長いキャリアにおいて、J2 降格や度重なる怪我を乗り越え、クラブ史上最多となる J1 リーグ通算 444 試合、J2 リーグ通算 36 試合に出場し、「広島愛」を原動力にプレーし続けた。
3	吉岡（よしおか）　美帆（みほ）	神奈川県 藤沢市	広島市西区出身の同氏は、平成 25 年（2013 年）にベネッセセーリングチームに所属し、ヨットのバランスを取るクルー役として帆を操り、平成 30 年（2018 年）の世界選手権女子 470 級で日本人女性初となる優勝や、リオデジャネイロ 2016 オリンピックに出場以降 2 大会連続での入賞など、数々の国際大会で優秀な成績を収めている。 そして、パリ 2024 オリンピックでは、岡田奎樹氏とペアを組み、新たに男女混合種目に変更された男女混合ディンギー種目 470 級に出場し、同競技における日本人としては 20 年ぶりの銀メダルを獲得した。

番号	氏名	住所	功績概要
4	長谷川（はせがわ）　勇基（ゆうき）	東京都 立川市	広島市南区出身の同氏は、20 歳の時にリハビリの一環として車いすラグビーを始め、平成 30 年（2018 年）から日本代表に定着した。 水球で培った身体能力をいかし、タックルなど激しい守備で縁の下の力持ちとしてチームを支え、東京 2020 パラリンピックで銅メダルを獲得するなど、輝かしい成績を残した。 そして、パリ 2024 パラリンピックでは、決勝においてリードされた第２ピリオドから出場し、持ち味の守備力をいかして相手の攻撃を防ぎ、味方のトライにつなげ逆転するなど、チームに勢いをつけ、同競技史上初となる金メダルの獲得に貢献した。
5	故　池亀（いけがめ）　和子（かずこ）	―	原爆死没者名簿の記帳は、「本市職員（退職者を含む。）であり、かつ被爆者である者」が行っており、同氏は、昭和 20 年（1945 年）8 月 6 日、当時 3 歳のときに観音本町で被爆した後、広島市役所に入庁し、昭和 60 年（1985 年）から原爆死没者名簿の記帳を始めた。 令和 6 年（2024 年）の記帳開始後に入院を余儀なくされ、医師から余命 1 ヶ月の宣告を受けたにもかかわらず、闘病生活を送りながら、亡くなる 11 日前の平和記念式典前日まで、33 年連続 35 回の長きにわたり原爆死没者名簿の記帳に尽力した。

［団体］（１団体）　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島（ひろしま）ドラゴンフライズ	広島市 西区 (10 年)	同クラブは、平成 25 年（2013 年）10 月に創設され、令和 2 年（2020 年）には B.LEAGUE 2019-20 シーズンの B2 リーグ西地区で優勝し、B1 リーグ昇格を決めた。 クラブ創設 10 年目の B.LEAGUE 2023-24 シーズンにおいて西地区 3 位となり、ワイルドカード枠として 2 年連続でチャンピオンシップに出場した。 同チャンピオンシップにおいて、レギュラーシーズン成績上位チームに勝利するという「下剋上」を達成し、B2 リーグを経験したチームとして史上初となる B1 リーグ優勝を果たした。 また、B リーグチャンピオンとして挑んだバスケットボールチャンピオンズリーグアジア 2024 でも 3 位となり、名実ともに広島が誇るバスケットボールチームとして活躍している。

令和５年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（２名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	石光（いしみつ）　秀年（ひでとし）	広島市 中区	同氏は、本市が離島における医療を確保するために似島町に設置している「似島診療所」において、平成３年（1991年）９月に前任の医師が従事できなくなり、似島の医療提供体制の維持が危ぶまれる中、広島市職員を辞して、似島診療所での診療を開始した。 その後、現在まで30年以上の長きにわたり、島内の外来患者の診療や往診、健康診断、予防接種、原爆健診、さらには、島内の保育園医や小中学校の学校医、重症患者の救急艇の搬送手配、船員の健康診断など、島内の公衆衛生活動全般に貢献している。 また、災害時には泊まり込みで待機するなど献身的に取り組み、似島の医療体制の維持に寄与している。
2	松浦（まつうら）　悠士（ゆうじ）	広島市 西区	広島市出身の同氏は、平成22年（2010年）に競輪レースデビューを果たすと、抜群の戦略性と脚力で着実に成長し、令和元年（2019年）の第61回朝日新聞社杯競輪祭において、一般社団法人日本競輪選手会広島支部所属の選手として、59年ぶりとなるＧＩレースの優勝者となった。 その後も、令和２年（2020年）の第63回オールスター競輪、令和３年（2021年）の第75回日本選手権競輪といったＧＩレースで優勝し、年間賞金獲得ランキングでも２年連続２位となるなど、名実ともに国内トップ選手となった。 そして、令和５年（2023年）、競輪界最高峰の大会であるKEIRINグランプリ2023で悲願の初優勝を果たし、初の年間賞金王を獲得した。

［団体］（３団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	ＮＴＴ西日本 ソフトテニス部	広島市 中区 (66 年)	同部は、昭和 32 年（1957 年）の創部以来、団体戦では全日本実業団 17 回、日本リーグ 27 回、個人戦では天皇賜杯全日本選手権（ダブルス）14 回、全日本シングルス選手権 13 回の優勝を飾るとともに、アジア競技大会等の国際大会に多くの代表選手を輩出するなど、名実ともに広島が世界に誇るソフトテニスチームとして活躍している。 令和 5 年（2023 年）は、団体戦では、ＳＴリーグ（旧日本リーグ）と全日本実業団選手権大会の国内主要大会二冠を達成したことに加え、シングルス、ダブルス及びミックスダブルスの各国内主要大会全てで優勝を果たした。 また、ソフトテニス界において最も重要な国際大会とされるアジア競技大会において、日本代表選手 5 人中 4 人の選手を輩出し、4 大会ぶりの国別対抗戦（団体）の優勝を始め、シングルス及びミックスダブルスの優勝も果たし、目覚ましい成績を残した。 さらに、トップス広島の加盟チームとして小学生を対象としたスポーツ教室等のほか、西日本各地で小中学生を対象に「ふれあいソフトテニス教室」を開催し、青少年健全育成及びジュニア育成を図るなど、積極的な社会貢献活動を行っている。
2	学校法人 エリザベト音楽大学	広島市 中区 (75 年)	同大学は、原爆による惨禍の中、青少年に希望と励ましを与えるため、昭和 23 年（1948 年）に設立された広島音楽学校を前身とし、その後、中四国・九州地方で唯一の博士課程を併設する音楽大学として発展し、令和 5 年（2023 年）に創立 75 周年を迎えた。 同大学は、定期演奏会、クリスマスコンサート、スプリングフェスティバルなど一年を通した演奏活動を始め、市内での様々な音楽イベントへの出演などにより、本市が目指す「音楽のあふれるまちづくり」に貢献している。 平成 27 年（2015 年）には、本市と「文化芸術の発展に向けた協定」を締結し、「姉妹・友好都市の日」記念イベントを始めとする様々なコンサートでの演奏など本市事業に積極的に貢献するとともに、平成 29 年（2017 年）のドイツ公演の際にはハノーバー市の演奏会場において原爆パネル展を行った。また、令和 4 年（2022 年）に開催された第 1 回ひろしま国際平和文化祭では、多くの学生ボランティアが参加するなど、平和文化の振興や世界に向けた「ヒロシマの心」の発信に貢献している。 さらに、同大学の学生はもとより、保育園・幼稚園児が音楽に触れるためのコンサート活動や、広島広域都市圏内の中学・高校生を対象に行うジュニアウインドオーケストラ広島での練習場所の提供や大型楽器の貸出を通して、文化芸術を担う人材の育成に寄与している。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
3	可部夢街道 まちづくりの会	広島市 安佐北区 (20 年)	同団体は、可部地区の旧街道の活性化を目的として平成15 年（2003 年）に設立され、町並み保全活動、旧街道でのイベント開催、住環境の整備などに取り組んでいるまちづくり団体である。 団体発足以来、コロナ禍の令和 2 年（2020 年）から令和 4 年（2022 年）を除いて、可部旧街道を巡り、歴史に触れながら出店やイベント等を楽しめる「可部の町めぐり」を開催し、地域の賑わい創出に取り組んでいる。令和5 年（2023 年）は、日本初の国産乗合バスである「かよこバス」を通じた横川地区との交流を生かし、同イベントを「可部夢街道まつり」としてスケールアップし、「かよこバス」や横川に関係する出展を行うなど、地区を超えたイベントに発展させ、県内外から集まった多くの人々に地域の魅力を広く発信した。 また、コロナ禍でイベント活動が大きく制約された令和2 年（2020 年）からは、まちが明るくなるようとの思いから、地元の保育園児、小・中学生及び高校生に描いてもらった木製のメッセージボードを付けた「花の一輪挿し飾り」や「花のプランター」を地域に設置し、地域の活性化に寄与している。 さらに、可部小学校と連携し、SDGs を学ぶ授業の一環として、生徒が自分たちで作ったメッセージボードを巡りながら可部の歴史を学ぶ「ミニまちめぐり」を実施し、人材育成にも寄与している。

令和４年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（３名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	森保（もりやす）　一（はじめ）	東京都 品川区	同氏は、昭和 62 年（1987 年）にマツダサッカークラブ（現サンフレッチェ広島）に入団し、3 年目からレギュラーに定着した後、日本代表にも選出され、平成 6 年（1994 年）にＪリーグ第１ステージ優勝に貢献するなど、中心選手として活躍した。 その後、クラブ創立 20 周年の平成 24 年（2012 年）にサンフレッチェ広島の監督に就任し、同年、悲願のＪリーグ初優勝を達成した。さらに、翌年にリーグ連覇を果たし、平成 27 年（2015 年）に 3 度目のリーグ優勝を成し遂げ、卓越した手腕によりサンフレッチェ広島の黄金時代を築いた。 そして、平成 29 年（2017 年）にサッカーの U-23 日本代表監督、翌年に日本代表監督に就任し、令和 3 年（2021 年）に日本で開催された第 32 回オリンピック競技大会では 4 位、令和 4 年（2022 年）にカタールで開催された 2022FIFA ワールドカップでは、優勝経験がある 2 か国に勝利して最高成績に並ぶベスト 16 進出に導いた。
2	下野（しもの）　竜也（たつや）	東京都 台東区	同氏は、国内外で指揮を学び、平成 12 年（2000 年）の東京国際音楽コンクール指揮部門で優勝し、翌年のブザンソン国際指揮者コンクールでも優勝して注目を浴びた。国内の主要オーケストラで指揮するほか、国際舞台でも活躍し、芸術選奨文部科学大臣賞など数々の著名な賞を受賞している。 平成 23 年（2011 年）に広島ウインドオーケストラ音楽監督、平成 29 年（2017 年）に広島交響楽団音楽総監督に就任すると、卓越した手腕により 2 つの楽団の演奏力の向上と発展に寄与し、広島の音楽文化を牽引し続けている。 また、広島交響楽団の定期演奏会に小中学生を招待するとともに、令和元年（2019 年）から中高生を対象とした音楽全般の総合講座「ジュニアウインドオーケストラ広島プロジェクト」を実施するなど、次世代を担う人材の育成に努めている。 さらに、令和 4 年（2022 年）に開催された「第 1 回ひろしま国際平和文化祭」において音楽部門のプロデューサーを務め、当文化祭の成功に貢献した。

番号	氏名	住所	功績概要
3	竹内（たけうち）　智香（ともか）	北海道 旭川市	同氏は、平成 23 年（2011 年）に広島ガス所属後、平成 26 年（2014 年）にロシアで開催された第 22 回オリンピック冬季競技大会の「スノーボード競技・パラレル大回転種目」に出場し、日本人女性として同競技初となる銀メダルを獲得した。また、平成 27 年（2015 年）に 2015FIS スノーボード世界選手権で 3 位となるなど、国際大会で優秀な成績を収めた。 そして、令和 4 年（2022 年）に中国で開催された第 24 回オリンピック冬季競技大会に出場し、平成 14 年（2002 年）から続く冬季オリンピック連続出場を 6 大会に伸ばし、日本人女性最多記録を打ち立てた。 また、小学生を対象としたスノーボード教室を広島都市圏内で開催するなど、ウインタースポーツの普及啓発活動を積極的に行っている。

［団体］（２団体）　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima	広島市 中区 (25 年)	同団体は、県内の森林や里山の健全な環境を守るため、森林整備や環境教育に関する取組を展開するボランティア団体であり、平成 9 年（1997 年）の活動開始以来、森林ボランティアの先導的な存在として、長年にわたり森林の重要性と保全の必要性を啓発し続けている。 地域や他団体との協働による地域の森林環境の改善を図るプロジェクトを始め、間伐材等を活用した木製ベンチやクラフトの製作・指導、水源涵養や土砂災害防止機能向上を図るため放置された人工林等の出前間伐、炭焼き等の里山文化を実現するため借り受けた山林の再生整備を行っている。 さらに、環境教育を企画立案する指導者の人材育成を行うとともに、子どもを対象とした森林ボランティア養成講座「もりメイトキッズ」の開催を行っている。 同団体のこうした活動は、本市が推進する「市民と育てる健全な森林（もり）づくり」に大きく貢献している。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
2	段原地区 町づくり協議会	広島市 南区 (25 年)	同団体は、段原地区に再開発以前にあった商店組織を再び立ち上げて地域を盛り上げたいという思いの下で平成 9 年（1997 年）に設立され、地域の伝承をいかした魅力の向上や発信などの取組を行っているまちづくり団体である。 段原地区を流れる猿候川に語り継がれる南区七大伝説の一つ「河童伝説」にちなんだまちおこしイベントである「猿猴川河童まつり」を平成 10 年（1998 年）から 22 年にわたり開催しており、地域住民との協働でステージや出店などの催しを行い、広島最大級の手作り川イベントに成長させた。 また、平成 26 年（2014 年）に、地元の専門学生がデザインしたご当地河童キャラ「きゅー太」をイベント等で活用するほか、コロナ禍でイベント活動が大きく制約される近年にあっても、比治山地区など近隣の他団体の活動を支援し、地域内外の交流に積極的に取り組んでいる。 同団体のこうした活動は、地域の魅力向上及び活性化に大きく貢献している。

令和３年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（６名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	中谷（なかたに）　雄英（たけひで）	広島市 佐伯区	広島市出身の同氏は、昭和 39 年（1964 年）に日本で開催された東京オリンピック「柔道競技」の男子軽量級に出場し、柔道がオリンピックの正式競技となって初めての金メダルを獲得した。 その後は広島県柔道連盟理事長や全日本柔道連盟理事などを歴任し、豊富な競技経験をいかした指導で全国大会・国際大会で活躍する選手を多数輩出するなど柔道競技の普及・発展に大きく寄与した。 特に、広島で開催された平成 6 年（1994 年）の第 12 回アジア競技大会及び平成 8 年（1996 年）の第 51 回ひろしま国体では、広島市柔道連盟会長として先頭に立って指揮を執り大会の成功に大きく貢献した。 これらの功績が認められ、平成 12 年（2000 年）には文部大臣表彰（スポーツ功労）、平成 15 年（2003 年）には藍綬褒章、平成 23 年（2011 年）には旭日双光章を受賞した。 そして、令和 3 年（2021 年）11 月に文化功労者に選出された。
2	菊池（きくち）　涼介（りょうすけ）	広島市 南区	同氏は、平成 24 年（2012 年）に広島東洋カープに入団後、9 年連続 9 回ゴールデン・グラブ賞の受賞、最多安打のタイトル獲得、セ・リーグベストナインに選出されるなどの活躍を続け、平成 28 年（2016 年）から平成 30 年（2018 年）までの広島東洋カープリーグ 3 連覇にも大きく貢献した。 令和 2 年（2020 年）にはプロ野球史上初の二塁手守備率 10 割（シーズン無失策）を達成し、セ・リーグ連盟特別表彰（リーグ特別賞）を受賞した。 そして、令和 3 年（2021 年）に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年（1992 年）以降初めての金メダルの獲得に貢献した。

番号	氏名	住所	功績概要
3	すずき　せいや 鈴木　誠也	アメリカ合衆国	同氏は、平成 25 年（2013 年）に広島東洋カープに入団後、6 年連続 6 回セ・リーグベストナインに選出されたほか、ゴールデン・グラブ賞を 5 回受賞するなどの活躍を続け、平成 28 年（2016 年）から平成 30 年（2018 年）までの広島東洋カープリーグ 3 連覇にも大きく貢献した。 令和元年（2019 年）及び令和 3 年（2021 年）には首位打者及び最高出塁率のタイトルを獲得した。 そして、令和 3 年(2021 年)に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年（1992 年）以降初めての金メダルの獲得に貢献した。
4	くりばやし　りょうじ 栗 林　良 吏	広島市 南区	同氏は、令和 3 年（2021 年）に広島東洋カープに入団し、抑え投手として開幕から 22 試合連続無失点を記録して新人投手の日本記録を更新するとともに、37 セーブを記録して新人投手のタイ記録に並ぶなどの優秀な成績を収め、セ・リーグ最優秀新人賞（新人王）を獲得した。 そして、令和 3 年(2021 年)に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年（1992 年）以降初めての金メダルの獲得に貢献した。
5	もりした　まさと 森下　暢仁	広島市 南区	同氏は、令和 2 年（2020 年）に広島東洋カープに入団し、1 年目から 10 勝、防御率 1.91 を記録するなどの優秀な成績を収め、セ・リーグ最優秀新人賞（新人王）を獲得した。 そして、令和 3 年(2021 年)に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年（1992 年）以降初めての金メダルの獲得に貢献した。
6	やなぎた　ゆうき 柳田　悠岐	福岡県 福岡市	広島市出身の同氏は、平成 23 年（2011 年）に福岡ソフトバンクホークスに入団後、パ・リーグベストナインに 6 回選出、ゴールデン・グラブ賞を 6 回受賞するなどの活躍を続けている。 平成 27 年（2015 年）にはプロ野球史上初のトリプルスリー（打率 3 割・30 本塁打・30 盗塁）と首位打者を同時に達成し、パ・リーグ最優秀選手に選出された。以降、最高出塁率及び最多安打などのタイトルを獲得し、令和 2 年（2020 年）には 2 回目のパ・リーグ最優秀選手に選出された。 そして、令和 3 年(2021 年)に日本で開催された東京 2020 オリンピック競技大会の「野球競技」において日本代表として出場し、野球がオリンピック正式競技となった平成 4 年以降、初めての金メダルの獲得に貢献した。

［団体］（２団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島市植物 公園ガイド ボランティア	広島市 佐伯区 (20 年)	同団体は、広島市植物公園において、園内植物のガイド活動や自然体験学習の実施などを行っているボランティア団体であり、平成 13 年（2001 年）から活動を開始している。 園内植物のガイド活動に当たっては、定期ガイドや夜間開園などのイベント時のガイドのほか、小学校などを対象とした団体ガイドも行っており、約 20 年にわたり、延べ 36 万人以上の入園者に植物の魅力を伝え続けてきた。 また、植物を通じて自然の不思議を体験しながら楽しく学べる自然体験学習を実施し、平成 25 年（2013 年）から約 8 年間にわたり、延べ 5,000 人以上の子供に自然と触れ合う機会を提供し続けてきた。 同団体のこうした活動は、市民の植物への関心や自然保護に関する意識の向上につながるとともに、地域の魅力創出に大きく貢献している。
2	あきく魅力探見隊	広島市 安芸区 (20 年)	同団体は、自然豊かな安芸地区（安芸区、府中町、海田町、熊野町及び坂町）の山々を登山者が安心・安全・快適に楽しむことができるよう、ハイキングコースの整備や周知などを行っているボランティア団体であり、平成 13 年（2001 年）から活動を開始している。 ハイキングコースの整備に当たっては、月に 1 回、登山道の草刈りや倒木の処理を実施するとともに、随時、登山道の補修などを行っている。そのほか、ハイキングコースを示す手作りの道標を平成 27 年度（2015 年度）までに 400 本以上新設し、その後は朽ちた道標の交換を継続して行っており、平成 31 年(2019 年)には五つの山にベンチを新設するなど、ハイキングコースの整備に大きく寄与している。 さらに、年に一度、安芸区役所と連携して「区民ハイキング」を開催し、区内外の住民に自然豊かな山々に親しんでもらう機会を提供するほか、SNS を通じて自然豊かな安芸地区の山々の魅力を発信し続けている。 同団体のこうした活動は、地域の魅力向上及び市民の健康づくりに大きく貢献している。

令和２年度広島市民賞受賞者名簿

［団体］（４団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	コカ・コーラ レッドスパークス ホッケー部	広島市 中区 (25 年)	同団体は、平成 8 年（1996 年）に創部され、令和元年（2019 年）までに、全日本社会人ホッケー選手権大会 4 回、高円宮牌ホッケー日本リーグ 3 回、全日本女子ホッケー選手権大会 1 回、それぞれ優勝を飾るとともに、日本代表チーム「さくらジャパン」に多くの選手を輩出するなど、女子ホッケー界のトップチームとして活躍し続けている。 令和 2 年（2020 年）のシーズンは、11 月に全日本社会人ホッケー選手権大会と高円宮牌ホッケー日本リーグの両大会で栄冠を勝ち取った。12 月、全日本社会人と全日本学生選手権を勝ち抜いた強豪 8 チームによるトーナメント形式で行われる全日本女子ホッケー選手権大会では、並み居る強豪の攻撃を完璧に抑え、全ての試合で失点がゼロという盤石な試合運びで優勝を果たし、チーム初となる、国内主要大会全制覇という快挙を成し遂げた。 また、小中学校を訪問し、ホッケー教室を開催するほか、小学生から高校生までの経験者を対象にホッケークリニックを実施するなど、青少年健全育成及びジュニア育成に寄与する社会貢献活動を積極的に展開している。
2	ひろしま音読の会	広島市 中区 (20 年)	同団体は、被爆者の被爆体験記を始め、原民喜や峠三吉らの原爆をテーマとした詩や小説を朗読し、被爆体験の継承を図ることを目的に、広島在住の元・現役アナウンサーが中心となって平成 12 年（2000 年）に発足したボランティア団体である。 毎年、春と夏の自主公演のほか、学校や図書館など地域で朗読会を開催し、被爆者の思いを情感あふれる声で表現し、核兵器廃絶を願うメッセージを発信している。 また、自主公演には市内の高校の放送部員や演劇部員にも参加してもらうなど、若い世代への継承にも力を入れている。 同団体が平成 16 年（2004 年）に国立広島原爆死没者追悼平和祈念館で修学旅行生を対象に開催した朗読会が、同館が被爆体験記の朗読事業をスタートするきっかけとなった。 同団体のこうした活動は、被爆体験の継承及び平和意識の醸成に大きく貢献している。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
3	ひろしま歴史 探検隊	広島市 東区 (15 年)	同団体は、広島市文化財団文化財課や広島城、広島市郷土資料館を拠点に、広島の歴史や文化を伝える活動を行っているボランティアグループである。 同団体は、文化財課が学校や公民館などで実施する出張講座のサポートを平成 17 年（2005 年）から始め、2 年後には活動場所に広島城と郷土資料館を加え、平成 23 年（2011 年）から同団体名称で活動を行っている。 広島城跡内の建物・史跡のガイドを始め、出前講座における土器・埴輪などのものづくり体験や火起こし・弓矢などの古代体験、また、藍染めや手すきハガキ作りなどの講座での分かりやすい説明や一人一人へのきめ細かな対応は高い評価を受けている。 平成 28 年度（2016 年度）からは年に一回、同団体が主体となって、工作や昔の遊び体験、時代衣装の試着体験など、楽しみながら歴史や文化を感じられるイベント「ひろしま歴史探検隊まつり」を開催している。 同団体のこうした活動は、市民の郷土への理解を深めるとともに、市民の文化活動の振興に大きく貢献している。
4	湯来ふるさと プロジェクト	広島市 佐伯区 (15 年)	同団体は、湯来地域がより生き生きと輝く地域となるよう、平成 17 年（2005 年）の広島市と湯来町の合併を機に設立された団体で、湯来の魅力の向上や発信など様々な取組を行っている。 木々が伐採されたままになっていた狐原山を佐伯区の新たな桜の名所に再生するため、桜の苗木約 200 本を植樹し、散策道を整備するとともに、定期的に草刈りや剪定などを行っており、開花シーズンには、地域の学校等の協力を得て、出店やステージショーなどのイベントを開催している。 また、「クリーン＆グリーン」と題して、来訪が多いシーズンの前に年 2 回、市内から湯来に至る地区内の約 8 km 区間の道路沿いの清掃活動を行うとともに、道路上にプランターを設置し、年間を通じて草花を植栽しており、湯来への来訪者増に寄与している。 さらに、様々なイベントでのこんにゃく作りの実演等を通じて、湯来の特産品であるこんにゃくの普及に努めている。 同団体のこうした活動は、地域の魅力向上及び活性化に大きく貢献している。

令和元年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（１名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	今村（いまむら）　夏子（なつこ）	大阪府 大阪市	広島市安佐南区出身の同氏は、大学卒業後、29 歳から執筆活動を始める。 平成 22 年（2010 年）に「あたらしい娘」で太宰治賞を受賞し、平成 23 年（2011 年）には同作などを収めた「こちらあみ子」で三島由紀夫賞を受賞した。 そして、令和元年（2019 年）7 月、「むらさきのスカートの女」で第 161 回芥川賞を受賞した。 同氏の作品には、広島弁が魅力的に描かれ、実家周辺がモデルになるなど、地元の影響が色濃いものもある。 広島県出身者の芥川賞受賞は、2 人目の快挙である。

［団体］（３団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	ＮＴＴ西日本 ソフトテニス部	広島市 中区 (63 年)	同団体は、昭和 32 年（1957 年）に創部され、平成 30 年（2018 年）までに、団体戦ではソフトテニス日本リーグ 23 回、全日本実業団選手権大会 15 回、個人戦では天皇賜杯全日本選手権大会（ダブルス）13 回、全日本シングルス選手権大会 11 回、それぞれ優勝を飾るとともに、アジア競技大会や世界選手権大会に代表選手を輩出するなど、長年にわたりソフトテニス界のトップチームとして活躍し続けている。 令和元年（2019 年）12 月には、第 37 回ソフトテニス日本リーグで 24 回目の優勝を果たし、10 連覇という快挙を成し遂げた。 また、トップス広島の加盟チームとして、小学生を対象としたスポーツ教室等においてソフトテニスの指導等を通じて、青少年の健全育成及びジュニア育成を図るなど、積極的な社会貢献活動を行っている。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
2	本川おもてなし隊	広島市 中区 (15 年)	同団体は、平成 16 年（2004 年）から、本川地区女性連合会のメンバーが中心となって活動を開始し、広島を訪れる外国人等に対して、本川小学校平和資料館や被爆樹木・慰霊碑の案内のほか、被爆体験証言の読み聞かせや被爆体験集の発行、また、書道・茶道・折り紙等の日本文化の体験、児童・地域住民との交流など、被爆の実相や平和の大切さを伝えるとともに、広島に親しみを感じてもらうための取組を展開している。平成 27 年（2015 年）の被爆 70 周年を契機として発展的に正式な団体として設立され、その活動は今年度で 15 周年を迎えた。 これまでに延べ 900 人を超える外国人等を受け入れたほか、本川地区の訪問者や居住外国人を対象に「本川地区おもてなしマップ」の配付、盆踊り等の地域行事への招待などを行うとともに、地域住民等と連携して「ふれあいコンサート」を開催するなど幅広い活動を行っている。 同団体のこうした活動は、地域の魅力向上及び活性化に大きく貢献している。
3	西区やまなみの会	広島市 西区 (15 年)	同団体は、平成 16 年（2004 年）に西区やまなみハイキングルート（鈴ヶ峰～大茶臼山～宗箇山(三滝山)までの約 12km のルート）整備のために西区役所が募集したボランティアの参加者が集まって活動が始まり、その翌年から同団体名称で活動を行っている。 西区やまなみハイキングルートの整備に当たっては、ルート設定を始め、案内板の設置やガイドマップの作成などに協力し、その整備に大きく寄与した。また、平成 25 年(2013 年)には、武田山関連団体連絡会と共同で、安佐南区の武田山につながる登山道（約 9km）の草刈り等を行い、ハイキングルートの延長及び新たなハイキングマップの作成に貢献した。ルート整備後も、年に 4、5 回程度、案内板の補修や倒木の除去、草刈りを行うなど、安全で快適な登山道となるよう尽力しており、その活動は今年度で 15 周年を迎えた。 また、平成 16 年（2004 年）以降、西区役所が主催する西区やまなみハイキングの企画・運営に協力し、平成 25 年（2013 年）以降は、同事業を西区役所から引き継ぎ自主事業として開催し、市民にハイキングの魅力を体感してもらう取組を続けている。 同団体のこうした活動は、地域の魅力向上及び市民の健康づくりに大きく貢献している。

平成30年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（２名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	開地（かいち）　義明（よしあき）	広島市 西区	同氏は、平成24年度（2012年度）から5年間にわたり広島市PTA協議会会長として、また平成29年度（2017年度）には広島市PTA協議会顧問として、類いまれなリーダーシップを発揮し、児童・生徒のスマートフォンの適正利用を促す「10（テン）オフ運動」や「『ストップ　ダラ通』プロジェクト」、さらには、いじめ撲滅に向けた啓発活動を行うための「いじめ撲滅プロジェクト」など、多種多彩な新規事業を企画立案した。現在、これらの取組は、市内の多くの小・中学校で実践されており、同氏は、本市の青少年健全育成の推進に多大な貢献をしている。 また、同氏は、庚午中学校PTA会長在職時に、「おやじの会」を自ら立ち上げ、父親のPTA活動への積極的な参画を後押しした。 さらに、同氏は、本市教育委員会から広島市電子メディア・インストラクターの認定を受け、平成21年度（2009年度）から「電子メディアに関する講習会（ケータイ出前講座）」の講師として市内の小・中学校等へ出向き、青少年や保護者等に対して、スマートフォンなどの使用方法の啓発活動を行っている。
2	二宮（にのみや）　真琴（まこと）	神奈川県 横浜市	広島市安佐北区出身の同氏は、小学生から本格的にテニスを始め、高校生時代には国際大会で優秀な成績を収めるなど世界の舞台で活躍するようになり、平成24年（2012年）には、プロ選手に転向した。 これまで数多くの国内外の女子ダブルス大会に出場しており、平成28年（2016年）には、江西省オープン準優勝、ジャパンオープン優勝、平成29年（2017年）には、マレーシアオープン準優勝、平成30年（2018年）には、ホバート国際準優勝、ジャパンオープン準優勝、パン・パシフィックオープン優勝と活躍を重ね、平成30年（2018年）第18回アジア競技大会では銅メダルを獲得している。 さらに、平成29年（2017年）開催のウィンブルドン選手権でベスト4入りを果たし、平成30年（2018年）に開催された全仏オープンでは、日本人女子同士のペアとしてはテニスの四大大会で史上最高成績となる準優勝に輝いた。 同氏は、現在、JTA（日本テニス協会）ダブルスのランキング1位となっている。

［団体］（４団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	ASA ZOO ボランティアーズ	広島市 安佐北区 (15 年)	同団体は、安佐動物公園において、展示解説や園内整備などのボランティア活動を行っており、現在、79 人が参加し、野生動物の魅力などを来園者に伝える「動物解説ボランティア」（平成 15 年（2003 年）発足）と、園内の花壇の手入れや看板作成などを行う「作業ボランティア」（平成 18 年（2006 年）発足）とで構成されている。 動物解説ボランティアは、ライオン舎の前などスポットでの解説のほか、園内を巡るツアーガイドを行い、来園者から分かりやすく、おもしろいと高い評価を受けている。 作業ボランティアは、年間を通して園内の花壇を手入れし、花を植えたり、水をやったりと、園内の美化に貢献し、来園者に心地よい空間を提供している。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
2	特定非営利活動 法人セトラ ひろしま	広島市 中区 (15 年)	同団体は、平成 15 年（2003 年）の設立以降、公園や商店街などの公共空間における、広島市中央部地域（センターエリア＝セトラ）の魅力的なにぎわいの創出と、活性化を目的とした多種多様なまちづくり活動を行っている。 市民による多様性をもった新しい文化スタイルの創造に取り組む「文化交流事業」として、平成 23 年度（2011 年度）から、8 月 6 日夜に元安川親水護岸の灯ろう流し会場で、川を流れる灯ろうと様々なジャンルの音楽のコラボにより、慰霊の思いを表現する空間を創出する「慰霊のための音楽奉献“Offering of Music”」を開催するとともに、平成 26 年度（2014 年度）から、広島の伝統文化である「亥の子祭り」の精神を現代の感性でまちの文化として継承・復元した「大イノコ祭り」の市民有志との連携による開催などを行っている。 また、市民参加のお祭りや広場イベントの提案・実施をする「まちづくりイベント事業」として、平成 16 年度（2004 年度）から、アリスガーデンで、都心部の新しい魅力づくりと観光拠点の創出を図ることを目的に、ライブやアートマーケット等を行う「アリスガーデンパフォーマンス広場 AH！」などを開催している。 さらに、子供の生育環境を充実させる「こどもイキイキ環境プロジェクト」として、平成 24 年度（2012 年度）から、中央公園において、冒険遊び場「もとまち自遊ひろば」を月 2 回程度実施し、子供が自らの発想と責任で自由に遊べる広場を創出している。 また、市民・住民が参加して街中の緑化活動を行う「グリーンプロジェクト」として、平成 15 年度（2003 年度）から公共花壇の維持管理等を行うほか、市民による公園等公共空間の美化・清掃活動を行う「地域環境プロジェクト」として、平成 17 年度（2005 年度）から袋町公園美化活動や、えべっさんでのおそうじ隊活動などを行っている。 同団体は、幅広い分野で継続して事業を展開することにより、市内中心部への集客に成果を上げており、まちの活性化や魅力創出に大きく貢献している。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
3 ・ 4	やぐちおもいやりタクシー活性化協議会 ・ 有限会社やぐちタクシー	広島市 安佐北区 (15年)	同協議会は、安佐北区口田地区の乗合タクシーの「やぐちおもいやりタクシー」の運行継続を支援する住民主体の団体であり、同社は同タクシーを運行する事業者である。 口田地区は、坂道が多い上、JR駅やバス停から離れており、移動に制約を受ける交通弱者等に対して生活交通を確保することが課題であった。これを解決するため、地域住民自らが住民アンケート調査を行ったところ、地域内を循環する乗合タクシーの導入を希望する意見が多かったことから、同社へ「やぐちおもいやりタクシー」の運行を依頼した。当初から利益の見込める事業ではなかったが、同社は地域に密着した企業として地元の要望に応じたいと、平成15年（2003年）から運行を開始し、これまでの同タクシーの利用者数は15万8千人に上る。 運行開始後は、利用が伸び悩み、廃止の危機に直面した。 そこで地域住民の代表者等で組織する「やぐちおもいやりタクシー活性化検討委員会」（同協議会の前身）を立ち上げ、路線の延長やダイヤ改正、往復割引、商業施設利用者の割引などの利用促進策を打ち出し、何とか危機を乗り越えることができた。 その後も、近隣団地への乗り入れや高齢者公共交通利用助成制度の活用、マスメディアを活用したPRなどの取組を積極的に展開し、平成28年（2016年）に同協議会として生まれ変わった後も、同タクシーの運行を地域を挙げて支援している。 同社は、15年もの間、必ずしも利益が見込めない同タクシーの運行を担い、地域住民のニーズに応じた交通サービスを提供しており、昨年7月の豪雨災害で運行経路の一部が寸断された状況でも、柔軟にルート変更を行い、被災後わずか2週間で運行を再開し、被災した地域に希望を与えた。 同タクシーは、交通不便な団地において、地域住民が主体的に、住民ニーズに応じた新たな交通サービスシステムを確立した先駆的な取組として、全国の同様の悩みを抱える多くの地域から注目を集めている。

平成29年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（２名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	鎌田（かまだ）　七男（ななお）	広島市 西区	医学博士である同氏は、長年にわたり放射線の人体影響についての研究に取り組んでいるが、中でも近距離被爆生存者に関する総合医学的研究や入市被爆者白血病の発生増加、放射性降下物由来の核物質による内部被ばくについての学術発表をするなど、一貫して被爆者に寄り添いながら研究活動を続けてきた。 また、放射線の人体影響についての研究成果や知見を、数々の国際会議、学会等の場やメディア等を通じて、積極的に社会に発信してきた。本市が被爆体験伝承者養成事業を開催した際にも、「原爆と人体への影響」をテーマとした講義の講師を務めるなど、本市が進める被爆の実相を守り、広め、伝える取組にも大きく貢献している。 さらに、放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）の代表幹事や会長を務め、本市が推進している放射線被曝者医療の国際協力に大きく貢献するとともに、財団法人放射線影響研究所顧問などの要職を歴任し、被爆者の保健、医療及び福祉の向上に尽力したほか、平成13年（2001年）4月からは、16年の長きにわたり、公益財団法人広島原爆被爆者援護事業団理事長及び広島原爆養護ホーム倉掛のぞみ園園長として、被爆者の養護という本市の公益事業にも尽力した。

番号	氏名	住所	功績概要
2	故　冨惠（とみえ）　洋次郎（ようじろう）	－	被爆三世である同氏は、自身の飲食店において、平成 18 年（2006 年）2 月から被爆証言者の会を原爆忌に合わせて毎月 6 日に開催してきた。その回数はこれまでに約 140 回となり、日本原水爆被害者団体協議会代表委員の坪井直氏、漫画「はだしのゲン」の作者の故中沢啓治氏を始めとする 100 名近くの被爆者がその体験を語った。歓楽街で被爆体験を伝えるという斬新な取組は、評判を呼び、他県からも若者が訪れるなど定着している。 また、同氏は、近い将来、被爆者という存在がいなくなるという危機感から、平成 28 年（2016 年）の秋に、被爆証言者の会に対する思いやこれまで証言をしてもらった被爆者 8 名の生きざまとメッセージを収めたエッセーの執筆を始めた。そうした中、平成 29 年（2017 年）初めに末期の肺がんであることが判明し、入院を余儀なくされたが、病床においても執筆・推敲を重ね、原稿が完成して間もなく、7 月 3 日に亡くなった。同氏は、7 月 20 日に出版されたこのエッセー「カウンターの向こうの 8 月 6 日」の巻末に「どんなことがあっても『証言者の会』は続ける」と残した。 同氏のこうした熱い思いは、同氏が亡き後も、多くの友人たちに受け継がれている。

［団体］（２団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	学校法人広陵学園 広陵高等学校 硬式野球部	広島市 安佐南区 （107 年）	同部は、明治 44 年（1911 年）に創部され、選抜高等学校野球大会(春)において、優勝 3 回、準優勝 3 回、全国高等学校野球選手権大会(夏)では準優勝 3 回など、輝かしい成績を残しており、全国でも有数の強豪校として勇名を馳せている。 平成 29 年（2017 年）8 月開催の第 99 回全国高等学校野球選手権大会では、一大会個人最多本塁打記録の更新に象徴されるように自慢の攻撃力で快進撃を続け、リードを許した試合においても粘り強く逆転勝ちを収めるなど、最後まであきらめることなく戦い抜く姿が多くの感動を呼び、平成 19 年（2007 年）以来、4 度目の準優勝に輝いた。 また、同年 10 月に行われた第 72 回国民体育大会の高校野球決勝では、春の甲子園優勝校を相手に見事勝利し、初優勝を飾った。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
2	広島市 みどりの少年団	広島市 安佐北区 (41 年)	同団は、子供たちの自然に対する健全な愛護心を養うことを目的として、昭和 51 年（1976 年）に設立され、今年で 41 周年を迎えた。 同団は、毎月 1 回、土曜日又は日曜日に森林公園や広島城、元宇品等において、現地に生息する動植物の観察学習等を行っており、主に市内の小学校教諭がボランティアで団員の指導に当たり、その活動を支えている。設立以来の活動回数は 400 回を超え、これまでに 500 名余りの団員が卒団した。 また、平成 24 年度（2012 年度）には、これまで団の活動で培ってきた動植物の観察学習に関する成果を冊子にまとめて市内の小学校等に配布しており、この冊子は教育現場でも大いに活用されている。

平成28年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（４名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	山縣（やまがた）　亮太（りょうた）	神奈川県 横浜市	同氏は、学生時代から世界の舞台で活躍し２０１２年にはロンドンオリンピックの陸上競技 男子４００ｍリレーで第４位に入賞、その後も、アジア競技大会を始め、数々の国際大会などで優秀な成績を収め、我が国はもとより、世界の陸上界でその実力が認められている。 そして、２０１６年のリオデジャネイロオリンピックにおいては､陸上競技 男子４００ｍリレーに第一走者として出場し、アジア新記録となる３７秒６０を樹立、見事に銀メダルを獲得した。 男子４００ｍリレーでのメダル獲得は２００８年の北京オリンピック銅メダル以来２大会ぶりであり、広島市にゆかりのある陸上競技選手としては１９２８年のアムステルダムオリンピックの三段跳びに出場し金メダルを獲得した織田幹雄氏以来８８年ぶりの快挙となった。
2	黒田（くろだ）　博樹（ひろき）	アメリカ合衆国 カリフォルニア州 ロサンゼルス市	同氏は、１９９７年に広島東洋カープに入団し、１年目から先発ローテーションを任され､２００５年には最多勝、２００６年には最優秀防御率のタイトルを獲得した。 ２００８年にアメリカのメジャーリーグ球団に移籍してからも５年連続２桁勝利をあげるなど安定した成績を残した。 ２０１５年には広島への強い思いから広島東洋カープに復帰し、世界屈指の投球術でチームをけん引、２０１６年には、満身創痍の中チームの勝利のために熱投を続け、日米通算２００勝を達成するとともに、広島東洋カープの２５年ぶりのリーグ優勝に大きく貢献した。
3	新井（あらい）　貴浩（たかひろ）	広島市 南区	同氏は、１９９８年に広島東洋カープに入団し、３年目にレギュラーに定着、２００５年には最多本塁打のタイトルを獲得した。 ２００８年の阪神への移籍を経て、２０１５年には広島東洋カープに復帰し、長打力のあるバッティングでチームをけん引、２０１６年には、通算２０００本安打、３００本塁打、１０００得点を達成するとともに、広島東洋カープの２５年ぶりのリーグ優勝に大きく貢献した。

番号	氏名	住所	功績概要
4	森（もり）　重昭（しげあき）	広島市 西区	同氏は、８歳のとき、爆心地から2.5㎞の己斐町で被爆した。被爆の惨状を目の当たりにしながらも、米国を憎むことなく、「原爆で失われた命や遺族の悲しみは日本も米国も同じ」という強い思いの下、約40年前から被爆した米兵の調査を始めた。日米から集めた膨大な資料の分析など地道な調査活動の結果、１２人の米兵の被爆死の実態を明らかにし、平成１０年（１９９８年）には、かつて米兵が収容されていた施設の跡に建つビルに、慰霊のための銘板を設置した。 また、同氏は、被爆死した米兵の名前や遺影を国立広島原爆死没者追悼平和祈念館に登録したいと考え、米兵の遺族や関係者とのやり取りを重ねた。同氏及び遺族等の尽力により、現在、同祈念館には、米兵１２人の名前と遺影が登録されるとともに、広島平和記念資料館には、同氏とのやり取りを通じて、遺族から寄贈された遺品が収められている。 昨年５月、現職の米国大統領として初めて広島を訪れたオバマ大統領が、その演説の中で同氏の活動に触れたことにより、同氏のこれまでの地道な取組は国内外に広く伝わり、戦争や核兵器の非人道性を世界に訴えることとなった。

［団体］（３団体）　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島東洋カープ	広島市 南区 (66年)	同球団は原子爆弾による壊滅的被害からの復興を目指す市民の熱い想いを受けて１９４９年１２月に「広島カープ」の名称で発足し、１９５０年からセントラルリーグに参加している。 １９６８年に球団名を「広島東洋カープ」に改め、現在のチームカラーである赤いヘルメットに変わった１９７５年には、創立２６年目にしてリーグ初優勝を成し遂げた。 その後カープは黄金期を迎え優勝を重ねていくが、１９９１年の６回目のリーグ優勝以降は、１９９７年の３位を最後に２０１２年まで１５年連続のＢクラスと低迷を続けた。 しかし、市民等のカープへの愛情や熱意は衰えることなく、近年は「カープ女子」に象徴される絶大な人気にも後押しされ、２０１３年、２０１４年には２年連続のクライマックスシリーズ進出、さらには２０１４年オフに黒田博樹投手、新井貴浩選手の復帰を受け、市民の優勝に対する期待が徐々に高まる中、２０１６年には、２５年ぶり７回目のリーグ優勝を成し遂げた。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
2	広島理容美容 奉仕グループ 輪の会	広島市 西区 (50 年)	同会は昭和４１年（１９６６年）の結成以降、理美容の奉仕活動を続けている広島市の理容師と美容師によるボランティアグループである。 毎月第四月曜日に養護老人ホーム広島平和養老館（南区）において、また毎月第一月曜日に医療型障害児入所施設若草園（東広島市）において、無料で理美容の奉仕活動を行っており、平成元年（１９８９年）６月には、長年の奉仕活動が認められ、ボランティア功労者に対する厚生大臣表彰を受賞している。 同会は理美容を通した入所者との触れ合いを大切にしており入所者も毎月のこの活動を楽しみにしている。 平成２８年（２０１６年）で活動５０年という大きな節目を迎え、活動開始から半世紀で、約３００人の理容師、美容師が当該奉仕活動に参加した。
3	広島車いす ダンスくらぶ	広島市 安佐北区 (19 年)	同くらぶは、平成９年（１９９７年）の設立以来、１９年の長きにわたり、障害のある人とない人が手と手を取り合い共にダンスをすることを通して、障害のある人とない人との相互理解、障害者の社会参加の促進や市民の福祉意識の高揚に寄与している。 平成１２年（２０００年）からフラワーフェスティバルのパレード及びステージに、平成１６年（２００４年）からとうかさん大祭にも出演し、車いすダンスを広めている。 平成１４年（２００２年）からは、市民向けの車いすダンス無料講習会を開催している。現在は広島県内の３都市での開催となっており、さらに活動の輪を広げようと尽力している。 また、平成１６年（２００４年）の米国ロサンゼルス市を皮切りに、米国や中国などの主要都市や本市の海外姉妹友好都市を親善訪問し、地元の障害者を始め市民との交流を深めることで、国境を越えた障害者に対する理解の促進に寄与している。 さらに、平成１８年（２００６年）からは、毎年車いすダンスの公演を開催しており、現在は特別支援学校や病院等を訪問し車いすダンスを披露する活動も行っている。 平成２８年（２０１６年）１０月２１日に、翌年４月に団体設立２０周年を迎えることを記念し、東京公演を行った。

平成27年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（３名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	中本（なかもと）　忠子（ちかこ）	広島市 中区	昭和55年（1980年）に保護司となった同氏は、2年後の昭和57年（1982年）から、家庭環境に恵まれない青少年に対し、自宅で食事の提供を行うとともに、当該青少年の相談支援を行ってきた。 その後、活動範囲を広げ、有志で食事提供を続ける一方で、平成15年（2003年）から、月2回、広島市中区の中央公民館で青少年のための食事会を開催している。 さらに、平成27年（2015年）には、特別非営利活動法人「食べて語ろう会」を設立し、後継者の育成も視野に置きながら活動を続けている。 こうした功績が認められ、同年11月に公益財団法人社会貢献支援財団より表彰された。
2	金子（かねこ）　留里（るり）	広島市 西区	子育て支援サークル「げんき発信隊」の代表である同氏は、平成10年（1998年）に、広島市で初めての子育てオープンスペース「0123のぼりまち」を立ち上げ、乳幼児の親子のための交流広場の提供を行っている。 また、同時期から子育てに関する情報を掲載した情報誌「だいじょうぶ通信」や、子育て中の親子のためのお出かけ情報を集約した「げんきナビかれんだ～」を毎月1回発行するなど、積極的な情報発信を行っている。 さらに、平成14年（2002年）からは、地域の子育て応援ネットワーク「子育ておたがいさま～ズ」を発足し、子育て支援者のためのイベントやセミナーを企画・開催するほか、子育てにおける母親・父親の意識調査報告などを実施し、幅広いネットワーク活動を展開している。

番号	氏名	住所	功績概要
3	坂本（さかもと）　牧子（まきこ）	広島市 安佐南区	平成 10 年（1998 年）から、祇園西公民館を中心に子育て支援活動を行っている同氏は、平成 13 年（2001 年）に、「子育て･サークル応援グループ MaMa ぽっけ」を立ち上げ、安佐南区内の子育てサークルの運営相談やサークル交流会などを実施している。 また、平成 14 年（2002 年）に発足した、地域の子育て応援ネットワーク「子育ておたがいさま～ズ」のメンバーとして、子育て支援者のためのイベントやセミナーを企画・開催するほか、子育てにおける母親・父親の意識調査報告などを実施し、幅広いネットワーク活動を展開している。 さらに、平成 16 年（2004 年）から活動を開始した、子育て支援に関する NPO 法人「e 子育てセンター」の立ち上げに尽力するとともに、同センター理事として、地域における子育てサポーター養成講座の講師を務めるほか、0 歳児の親子あそび教室を開催するなど、子育て支援者の育成にも力を入れている。

［団体］（３団体）　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	ＪＴサンダーズ	広島市 南区 (85 年)	同チームは、昭和 6 年（1931 年）に大蔵省広島地方専売局排球部として創部した。 昭和 42 年（1967 年）に全日本バレーボール選抜男女リーグが始まり、その後、平成 6 年（1994 年）にＶリーグとなって今日に至るまで、1 度も 2 部落ちすることなく、トップリーグで活躍し続けている唯一のチームである。 2014-15 シーズンにおいては、天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会での 7 年ぶり 2 回目の優勝を果たすとともに、Ｖ・プレミアリーグで悲願の初優勝を成し遂げ、2 冠に輝いた。 また、平成 12 年(2000 年)にスポーツを通じて社会貢献に寄与することを目的に発足したトップス広島に当初から加盟し、小・中学生等を対象とした「バレーボール教室」等を開催し、青少年の健全育成及びジュニア育成を図るなど、積極的な社会貢献活動を行っている。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
2	サンフレッチェ 広島	広島市 西区 (23 年)	同クラブは、平成 4 年(1992 年)に設立され、平成 5 年（1993 年）の日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）の創設時から参戦している。 平成 23 年(2011 年)12 月に、森保一監督が就任し、平成 24 年(2012 年)に、クラブ史上初となる J1 優勝を成し遂げ、平成 25 年(2013 年)には、2 年連続の J1 優勝を決め、連覇を飾った。 平成 27 年(2015 年)には、年間勝点 74 点と現行制度でのリーグ最多勝点を記録したほか、リーグ最多得点（73 点）と最少失点（30 点）を同時に達成するなど、攻守のバランスのとれた試合を展開し、年間勝点１位、Ｊ1 第 2 ステージでの優勝を果たすとともに、チャンピオンシップを制し 3 度目の J1 優勝を勝ち取った。 さらに、Ｊリーグチャンピオンとして、平成 27 年（2015 年）12 月に FIFA クラブワールドカップジャパン 2015 において堂々の 3 位、平成 28 年（2016 年）2 月に富士ゼロックス・スーパーカップにおいて 2 年ぶり 4 度目の優勝に輝いた。 また、平成 12 年(2000 年)にスポーツを通じて社会貢献に寄与することを目的に発足したトップス広島に当初から加盟し、小学生を対象とした「サッカー教室」等を開催し、青少年の健全育成及びジュニア育成を図るなど、積極的な社会貢献活動を行っている。
3	Ｙ＆Ｙ ＣＬＵＢ	広島市 安佐南区 (23 年)	同団体は、平成 4 年から長きにわたり、原爆養護ホーム倉掛のぞみ園において、隔月の第１月曜日に入園者に無料で理美容サービスを提供している。 同団体は、理美容を通した入所者との触れ合いを大切にしており、入所者にとっても大きな楽しみの一つとなっている。

平成26年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（２名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	堀口（ほりぐち）　力（ちから）	広島市 西区	同氏は、日本初の「樹医」山野忠彦氏との出会いから被爆樹木の保存を生涯の仕事と決意し、平成3年（1991年）に樹木医の資格を取得した。 その後、20年以上に亘り、市内56箇所に現存する約170本の被爆樹木を定期的に観察し、必要に応じて広島市や寺社等の被爆樹木の管理者への助言を行っている。 また、本市が後援し、㈱中国四国博報堂が実施している被爆樹木の保存活動「緑の伝言プロジェクト」の一環として、平成18年（2006年）から毎年実施している「被爆樹めぐり」では、市民と被爆樹木を巡るガイド役を務めるとともに、被爆樹木の種や苗木を国内外に広める市民団体「グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ」に、団体の設立時（平成24年）から樹木医としての知見を活かして参加し、被爆樹木の種の採取や苗木の育成を行うなど精力的な取組を行っている。 さらに、本市が平成8年度（1996年度）から実施している被爆樹木の登録に際し、調査への協力、助言を行うほか、平成13年度（2001年度）から実施している樹勢回復事業において、土壌改良などの作業の様子を市民に公開している。こうした活動は、被爆樹木の保存・継承に大きく貢献するものである。
2	糸谷（いとだに）　哲郎（てつろう）	大阪府 箕面市	同氏は、広島市西区出身であり、幼少の頃から将棋を始め、中国こども将棋名人戦で8期連続優勝、全国小学生将棋名人戦で3年連続ベスト8などの活躍をした。 小学4年の夏、プロ棋士養成機関の奨励会を受験し、史上初の10歳未満で合格し、その後、高校3年でプロ入りした。 プロ初年度の平成18年度（2006年度）は、公式戦で14連勝し、日本将棋連盟将棋大賞の連勝賞・新人賞を受賞するなど華々しいデビューを飾った。 平成26年（2014年）12月4日に、将棋界七大タイトル戦（竜王戦、名人戦、王位戦、王座戦、棋王戦、王将戦、棋聖戦）のうち、最高のタイトル戦である竜王戦を制してその座に就いた。 広島県出身の棋士としては、故升田幸三以来、56年ぶりという快挙を成し遂げ、将棋の普及と振興に寄与する上でもその功績は多大である。

［団体］（１団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島ウインド オーケストラ	広島市 安佐北区 (21 年)	同ウインドオーケストラは、平成 5 年（1993 年）に広島を中心に活躍しているプロの演奏家により結成された。 平成 10 年（1998 年）に元大阪市音楽団団長の木村吉宏氏を音楽顧問に迎え、邦人作品・管弦楽曲の新アレンジ集や吹奏楽オリジナル作品シリーズ CD をリリースし好評を博している。 平成 23 年（2011 年）1 月に国内外で指揮者として活躍する下野竜也氏が音楽監督に就任し、就任記念演奏会のライブ CD は、「レコード芸術」誌平成 23 年（2011 年）度第 49 回レコードアカデミー賞（特別部門吹奏楽）を受賞するなど高い評価を獲得した。 平成 25 年（2013 年）には、音楽文化の発展に多大な貢献をしていることが評価され日本管打・吹奏楽学会第 23 回アカデミー賞（演奏部門）を受賞するなど、吹奏楽の新たな可能性を感じさせるプロフェッショナル吹奏楽団としてさらなる躍進を続けている。 また、年 2 回の定期演奏会のほか、各地での依頼演奏会や音楽鑑賞教室、中学・高校の吹奏楽クラブの指導を行うなど、演奏のみならず、教育・啓発活動においても、吹奏楽による地方の音楽文化の発展に多大な貢献をしており、今後一層の活躍が期待されている。

平成25年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（３名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	外木場（そとこば）　義郎（よしろう）	広島市 西区	同氏は、昭和40年（1965年）に広島東洋カープに入団した。 入団1年目の昭和40年（1965年）に、プロ2度目の先発でノーヒットノーランを記録した。 昭和43年（1968年）には、豪速球と縦に鋭く割れるカーブを武器に先発の柱として21勝を挙げ、最優秀防御率を獲得するとともに、同年9月には完全試合を達成した。 昭和47年（1972年）に達成した史上2人目となる3回目のノーヒットノーラン（うち完全試合1試合）は、2リーグ制以降では唯一である。 平成25年（2013年）1月には、野球殿堂入りを果たした。
2	大野（おおの）　豊（ゆたか）	広島市 東区	同氏は、昭和52年（1977年）にドラフト外で広島東洋カープに入団した。 昭和56年（1981年）にリリーフ投手として8勝11セーブ、翌年の昭和57年（1982年）には10勝11セーブを挙げ、昭和59年（1984年）からは先発に転向し、平成2年（1990年）までに4度の二桁勝利を記録した。 昭和63年（1988年）には13勝、防御率1.70という成績で最優秀防御率と沢村賞を獲得した。 平成3年（1991年）に抑えに再転向し、6勝26セーブで最優秀救援投手に輝くとともに、14試合連続セーブの日本記録を樹立した。 実働22年で5度のリーグ優勝と3度の日本一に大きく貢献した。 平成25年（2013年）1月には、野球殿堂入りを果たした。
3	小山田（おやまだ）　浩子（ひろこ）	広島市 佐伯区	同氏は、広島市佐伯区出身であり、大学卒業後、地元の会社で勤務する傍ら、執筆活動を始めた。 平成22年（2010年）に、「工場」で新潮新人賞を受賞し、デビューした。 平成25年（2013年）に、初の単行本「工場」で第30回織田作之助賞を受賞した。 平成26年（2014年）1月には、小説「穴」で第150回芥川賞を受賞した。 芥川賞の受賞は、広島県出身者では初めての快挙である。

［団体］（１団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島交響楽団	広島市 中区 (50 年)	同楽団は、昭和 38 年（1963 年）に「広島市民交響楽団」として発足し、昨年に創立 50 周年を迎えた。 同楽団は、国際平和文化都市“広島”を本拠地とする中・四国唯一の常設のプロオーケストラとして活躍の場を拡げている。 秋山和慶氏が音楽監督・常任指揮者を務める下で、現在は、広島での年 10 回の定期演奏会や近隣市町等での演奏会を始め、県内における移動音楽教室、市内 8 区を巡回する「マイタウンオーケストラ広響」など国内外において幅広い演奏活動を行っている。 また、広島に本拠を置く広島東洋カープとサンフレッチェ広島と連携し、広島の元気の創出・地域活性化を図ることを目的に 3 つのプロ団体によるプロジェクト「P3 HIROSHIMA」を立ち上げ、学校訪問事業や招待事業など地域貢献活動を展開している。 平成 13 年度（2001 年度）から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍が期待されている。

平成24年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（３名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	北別府（きたべっぷ）　学（まなぶ）	広島市 西区	同氏は、昭和51年（1976年）にドラフト1位で広島東洋カープに入団した。 「精密機械」と称された制球力と投球術を武器に、入団3年目の昭和53年(1978年）に10勝を挙げると、この年から昭和63年(1988年）まで11年連続二桁勝利を達成した。 昭和57年（1982年）には20勝を挙げ、最多勝と沢村賞を獲得し、昭和61年(1986年）には、最多勝、最優秀防御率、ＭＶＰ、沢村賞を獲得し、チームのリーグ優勝に大きく貢献した。 現役時代に残した通算213勝は、広島東洋カープの球団記録でもある。 平成24年(2012年）1月には、野球殿堂入りを果たした。
2	故　津田（つだ）　恒実（つねみ）	－	同氏は、昭和57年（1982年）にドラフト１位で広島東洋カープに入団した。 入団1年目は、先発投手として11勝を挙げ、球団初の新人王に輝いた。入団2年目にはルーズショルダー（動揺肩）や中指の血行障害などに悩まされたが、昭和61年（1986年）に抑え投手として復活し、チーム5度目のリーグ制覇に大きく貢献し、シーズン終了後にカムバック賞を獲得した。 肩痛など度重なる故障を乗り越え、平成元年（1989年）には、最優秀救援投手に輝き、再び復活を遂げた。同氏の打者に真っ向から立ち向かう姿は、『炎のストッパー』と形容された。 平成3年(1991年)に脳腫瘍のため退団し、平成5年(1993年）に32歳で死去した。 平成24年(2012年）1月には、野球殿堂入りを果たした。

番号	氏名	住所	功績概要
3	佐藤（さとう）　寿人（ひさと）	広島市 安佐南区	同氏は、平成 17 年（2005 年）にベガルタ仙台からサンフレッチェ広島に移籍し、同年には、得点ランキング 3 位となる 18 得点を挙げ、ベストイレブンに選出された。 クラブがＪ2 降格となった平成 20 年（2008 年）には、Ｊ2 で最多となる 28 得点を挙げて、クラブのＪ1 復帰に貢献した。 平成 24 年（2012 年）の昨シーズンは、キャプテンとしてチームをけん引し、クラブのＪ1 初優勝に大きく貢献するとともに、22 ゴールを記録し、史上 10 人目、左利きの選手としては初のＪ1 通算 100 得点を達成すると同時に、Ｊ1・Ｊ2 通算 150 得点を達成した。 また、クラブ初のＪ1 得点王及び最優秀選手賞（ＭＶＰ）を獲得するとともに、ベストイレブン及びフェアプレー個人賞も獲得し、Ｊリーグ史上初の 4 冠に輝く快挙を成し遂げた。

［団体］（２団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	サンフレッチェ 広島	広島市 西区 (20 年)	同クラブは、平成 4 年（1992 年）4 月に創立され、日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）には平成 5 年（1993 年）の創設時から参戦しており、昨年で 20 年目を迎えた。 2 ステージ制であった平成 6 年（1994 年）には、前期優勝を果たした。 平成 15 年（2003 年）と平成 20 年（2008 年）に 2 度、Ｊ2 に降格するも、それぞれ 1 年でＪ1 に昇格している。 天皇杯全日本サッカー選手権大会では準優勝 4 度、Ｊリーグヤマザキナビスコカップでは準優勝 1 度、ゼロックススーパーカップでは優勝を果たしている。 平成 23 年（2011 年）12 月に就任した森保一監督の下、創設 20 年目の節目である昨年、クラブ史上初となるＪ1 初優勝を成し遂げた。
2	コカ・コーラ ウエスト レッドスパークス ホッケー部	広島市 中区 (16 年)	同団体は、平成 8 年（1996 年）に山陽コカ・コーラボトリング（現コカ・コーラウエスト）のホッケー部として創部し、平成 17 年（2005 年）から日本リーグに参加している。 平成 18 年（2006 年）10 月にトップス広島（8 種目 9 団体）に加盟し、スポーツの指導・普及・育成活動を通じて、広島のスポーツの活性化に貢献している。 トップス広島での活動に加え、「ホッケー教室」、「トップアスリート事業」等を開催し、ホッケーを通して、青少年健全育成及びジュニア育成を図るなど、積極的な社会貢献活動を行っている。 平成 23 年（2011 年）には、「高円宮牌ホッケー日本リーグ」で悲願のリーグ初優勝を飾るとともに、「全日本社会人ホッケー選手権大会」で初優勝を果たし、社会人単独チームで戦う 3 大会のうち、2 冠を制覇した。 平成 24 年（2012 年）には、「高円宮牌ホッケー日本リーグ」、「全日本社会人ホッケー選手権大会」及び「全日本ホッケー選手権大会」で優勝し、3 冠を制覇するという快挙を成し遂げた。

平成23年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（１名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	為末（ためすえ）　大（だい）	アメリカ合衆国 カリフォルニア州 サンディエゴ市	同氏は、広島市出身であり、平成13年（2001年）及び平成17年（2005年）に開催された世界陸上選手権400mハードルで2大会連続銅メダルを獲得するなど、日本を代表する陸上競技選手として活躍している。 平成18年（2006年）以降、全国の小学校で行われた陸上教室に参加し、平成19年（2007年）には、陸上競技のトップ選手が東京の丸の内の街なかで走りや跳躍を披露するイベント「東京ストリート陸上」を企画・プロデュースするなど陸上競技の普及に尽力している。 また、平成23年（2011年）3月に発生した東日本大震災の発生直後から、スポーツ選手らに義援金の募金を広く呼び掛ける支援活動「チームジャパン」をスタートさせ、多額の寄付を集めるなど積極的な社会貢献活動を行っている。 さらに、同年5月には、第35回ひろしまフラワーフェスティバルにおいて「広島ストリート陸上」を開催し、会場を盛り上げた。

［団体］（４団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	可部山岳会	広島市 安佐北区 (51年)	同会は、昭和36年（1961年）1月に発足し、今年で51周年を迎えた。 同会は、登山活動のほか、自然に親しむスポーツの普及や自然環境の保護に尽力している。 この間、同会会員が国民体育大会や広島県登山体育大会などに出場し、顕著な実績を残しており、登山界から高い評価を受けている。 また、平成23年（2011年）3月には、創立50周年記念事業として、手つかずの山中に5年余をかけ、5.7kmに及ぶ登山道「可部連山登山道」を独力で整備した。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
2	ひろしま国際 オペラスタジオ	広島市 東区 (22 年)	同団体は、地域文化の振興に寄与するとともに、斬新で質の高いオペラ公演の実施を目指して、平成元年(1989 年)6 月に設立された。 同団体は、平成 12 年（2000 年）の第 9 回定期公演から、公演前のゲネプロ（オーケストラ、照明、衣装などすべて本番どおりに行う最後の全体リハーサル）に、毎回、障害者施設に通所する障害者を無料で招待し、平成 23 年（2011 年）で 11 年目を迎えた。
3	特定非営利活動 法人広島トップ スポーツクラブ ネットワーク (トップス広島)	広島市 西区 (11 年)	同団体は、スポーツを通じた社会貢献に寄与することを目的として、平成 12 年（2000 年）4 月に設立された。 同団体には、現在、広島を拠点とするトップスポーツチーム 9 団体が加盟している。 同団体は、平成 15 年（2003 年）6 月からスポーツスクールを開校し、加盟チーム等の指導により、スクール生の競技力の向上及び地域スポーツの振興を図っている。 また、同団体は、広島市教育委員会と連携し、広島市内の小学校に指導者や選手を派遣し、学校教育の推進や体力の向上を図り、生涯にわたって運動を実践していくための基礎づくりに協力している。 さらに、ひろしまフラワーフェスティバルやスポーツ・レクリエーションフェスティバルなど、行政機関が行う全市的なイベントや地域が行うイベント等に選手を派遣し、スポーツの振興や青少年の健全な育成、まちづくりの推進に協力している。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
4	広島市観光 ボランティア ガイド協会	広島市 中区 (11 年)	同協会は、観光案内活動等を通じて広島市の観光振興に寄与することを目的として、平成 12 年（2000 年）10 月に設立された。 同協会は、平和記念公園、広島城、縮景園を中心に、観光客等にボランティアで観光案内を行っており、平成 23 年（2011 年）4 月 1 日現在の案内客数は約 15 万人にのぼっている。 同協会のボランティアガイド会員は、極めてボランティア意識の高い市民で構成され、日頃から内部で研修を重ねるなどガイドスキルの向上に切磋琢磨しており、ガイドを受けた観光客等から好評を博している。 特に、平成 16 年（2004 年）4 月から平成 18 年（2006 年）3 月までの 2 年間にわたり、20 年ぶりに実施された「広島県大型観光キャンペーン」では、目玉イベントである「ひろしまシティループバス」の経由地での無料ガイド案内や、「レトロ電車の運行」での広島弁による観光アナウンスなどにより、同キャンペーンの実施に大きく貢献した。 また、平成 19 年（2007 年）から 8 月 6 日の平和記念日に、平和記念公園を訪れる観光客等を対象に、平和記念公園内の無料ガイドを行うなど、本市の進める「おもてなしの観光」に大きく貢献している。

平成22年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（６名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	福井（ふくい）　孝次（こうじ）	広島市 安佐北区	同氏は、昭和52年（1977年）から、特別養護老人ホーム高陽荘において、理容の奉仕活動を続けている。 毎月第一月曜日に入所者の理容の奉仕活動を行っており、今年で34年目を迎えた。 平成4年（1992年）10月には、長年の奉仕活動が認められ、ボランティア功労者厚生大臣表彰を受賞した。
2	南（みなみ）　一誠（いっせい）	広島市 安佐南区	同氏は、昭和55年（1980年）に歌手としてデビューし、今年で31年目を迎えた。この間、『広島天国』や「第12回アジア競技大会広島 1994」の応援歌『熱き願い』、広島東洋カープの応援歌『それ行けカープ』など、広島に関わる数多くの歌を全国に発信し続けている。 また、平成3年（1991年）から平成12年（2000年）までの間、広島県内にある民話を掘り起こし紹介する「ミュージカル風広島民話劇」に主演するとともに、被爆50周年となる平成7年（1995年）には、原爆の投下で一瞬のうちに消えた旧天神町を舞台に人々の暮らしが描かれた芝居『天神町一番地』を座長として公演した。 平成3年（1991年）10月には、中国重慶市において開催された広島市との姉妹都市縁組5周年記念イベントに出演し、歌を通じた交流を行った。また、平成11年（1999年）8月には、世界音楽祭「オーガスト・イン・ヒロシマ'99」に参加し、ヒロシマの願いを世界に発信するとともに、平成21年（2009年）7月には、広島市制施行120周年記念式典の「広島の歌コンサート」に出演し、会場を盛り上げた。

番号	氏名	住所	功績概要
3	原田（はらだ）　真二（しんじ）	東京都 大田区	同氏は、広島市で生まれ、昭和 52 年（1977 年）に音楽家としてデビューし、今年で 34 年目を迎えた。 デビュー当初から、「世の中に優しさを復活させたい」との思いを抱き、「Love & Peace、Happiness」をテーマに音楽活動を続けており、これまでに、平和への思いを託した楽曲として、『ひろしまから始めよう』(平成 8 年(1996 年))や『大和～YAMATO The Global Harmony～』(平成 19 年（2007 年))、『Goodbye Tears / 広島の夢～Dream of Hiroshima～』(平成 22 年（2010 年)) などの作品を発表している。 また、平成 18 年（2006 年）から毎年、広島とニューヨークを中心に開催されているチャリティコンサート『グローバルハーモニー』を自らプロデュースし、平和を訴えるアーティスト等と共に出演している。そのコンサートの収益金の一部は、被爆者援護の充実を目的として、同年から平成 20 年（2008 年）まで本市に寄附された。 さらに、平成 21 年（2009 年）には、メキシコシティで開催された第62回国際連合広報局NGO年次会議に招待されて演奏し、世界に平和のメッセージを発信した。
4	氏原（うじはら）　睦子（むつこ）	東京都 世田谷区	同氏は、平成 12 年（2000 年）から「里山あーと村」の運営に関わり、森のジャズライブやそば作りを実施するなどの活動を通じて、里山の再生や地域の活性化に貢献した。 平成 16 年（2004 年）10 月には、河川と雁木を活用した水上交通ネットワークで、広島の魅力を向上させることを目的として、「NPO 法人雁木組」を設立した。同法人は、太田川河口デルタにある雁木を船着場として活用する「雁木タクシー」を全国で初めて運航し、現在までに約 3 万人の市民や観光客が利用している。 また、同法人が大学教授等と協同して行った京橋川雁木群の調査結果が裏付けとなり、平成 19 年（2007 年）に同雁木群が土木学会選奨土木遺産に認定された。 さらに、平成 19 年（2007 年）から、雁木と水辺の魅力を再確認することを目的とした「水辺ジャズ＆雁木クリスマス」を京橋界わいで開催するなど、同法人の中心的な存在として活躍している。

番号	氏名	住所	功績概要
5	萩原（はぎわら）　麻未（まみ）	フランス共和国 パリ市	同氏は、広島市出身であり、5歳の時からピアノを始め、国内のピアノコンクール等で数々の賞を受賞するとともに、13歳の時にイタリアの「第28回パルマドーロ国際コンクール」において史上最年少で第1位となった。 平成17年（2005年）に広島音楽高等学校を卒業後、パリ国立高等音楽院に留学し、平成22年（2010年）7月に同大学院修士課程を首席で卒業した。 留学後も、平成19年（2007年）から毎年、地元広島でピアノリサイタルを開催し、市民に音楽の素晴らしさを伝えるとともに、多くの感動を与えている。 平成22年（2010年）11月には、若手音楽家の登竜門として知られる「第65回ジュネーブ国際音楽コンクール」のピアノ部門において、日本人として初めて第1位となる快挙を成し遂げた。
6	前田（まえだ）　健太（けんた）	広島市 東区	同氏は、平成19年（2007年）に広島東洋カープにドラフト1位で入団した。 入団4年目となる昨季は、15勝8敗の成績を上げ、セ・リーグの投手部門で最優秀防御率、最多勝利、最多奪三振の三つのタイトルを獲得した。同リーグでの投手三冠の達成は、読売ジャイアンツに在籍していた上原浩治投手が平成11年（1999年）に記録して以来7人目、広島東洋カープでは初めての快挙である。 また、これらのタイトルに加え、そのシーズンにプロ野球で最も活躍した先発完投型の投手に贈られる沢村賞やベストナイン、ゴールデングラブ賞などを受賞した。

［団体］（２団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	社団法人 広島青年会議所	広島市 中区 (60 年)	同会議所は、「経済、社会、文化等に関する諸問題を調査研究し、国内諸団体と相協力して地域社会の正しい発展を図ること」等を目的として、昭和 25 年（1950 年）に発足した。以来、広島の発展に貢献する活動を続け、今年で 61 年目を迎えた。 同会議所は、「ひろしまフラワーフェスティバル」にその誕生から深く関わっており、昭和 55 年(1980 年)の第４回フェスティバルからは、同会議所理事長が実行委員長を務めている。同フェスティバルは毎年約 160 万人の来場者でにぎわう本市最大のイベントとなった。 また、「ひろしま国際平和マラソン」の開催に尽力し、同マラソンは昨年で 30 回目を迎えた。今や全国から約１万 2,000 人が参加し、本市を代表するスポーツイベントとして定着している。 そのほか、子どもたちや地域の人々が平和への思いを音楽で発信する「市民芸術祭」、平和への願いをテーマに子どもたちが描いた絵を展示する「みて！みて！！平和のでっかい絵」を主催するなど、市民参加の平和の取組を推進している。
2	劇団四季	神奈川県 横浜市 (41 年)	同劇団は、昭和 28 年（1953 年）に設立され、年間総上演回数が 3,000 回を超える日本最大規模の劇団である。 同劇団は、地方文化の振興に積極的に貢献し、広島では、昭和 44 年（1969 年）の『白痴』が初演となり、以後毎年公演を行っている。 このうち、長期公演は、平成 13 年（2001 年）の『オペラ座の怪人』に始まり、これまで平成 15 年（2003 年）の『キャッツ』、平成 20 年（2008 年）の『美女と野獣』、平成 22 年（2010 年）の『マンマ・ミーア！』の４作品が上演された。その上演回数は延べ 346 回、入場者数は約 45 万人に達し、市民に多くの感動を与えている。 これらの活動に加え、昭和 58 年（1983 年）7 月からは、財団法人ニッセイ文化振興財団が主催する子ども向けミュージカルの広島公演に劇団員が毎年出演し、子ども達にミュージカルの素晴らしさを伝えている。

平成21年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（５名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	三宅（みやけ）　立美（たつみ）	広島市 西区	同氏は、戦後まもなく作詞家として活動し、今年で作詞家活動60周年を迎えた。この間、約3,000の詞を作り、付曲されたものは約1,000曲、そのうち約200曲がレコード化されている。 代表曲に、北島三郎の『銀座の庄助さん』や村田英雄の『万国博音頭』などがあり、『夫婦松』では古賀政男記念音楽大賞優秀賞を受賞するなど広島を代表する作詞家の一人である。 また、『水の都ひろしま音頭』や広島平和音楽祭のグランプリ曲『広島・市電・街景色』、本市公募の「広島の歌」優秀賞受賞曲『太陽があるかぎり』など、広島をテーマにした作品も数多くある。 平成5年(1993年)には、広島刑務所で10年間にわたって歌と踊りとマジックの慰問を続けたことに対して法務大臣から感謝状が贈呈されている。 現在も作詞活動を続ける傍ら、市内のカルチャーセンターで作詞教室を開催するなど、後進の指導に当たっている。
2	那須（なす）　正幹（まさもと）	山口県 防府市	同氏は、広島市で生まれ、大学卒業後、サラリーマンを経て、児童文学作家となり、これまで200を超える作品を発表している。同氏の独創的な作品は、「路傍の石文学賞」や「巌谷小波文芸賞」、「野間児童文芸賞」を受賞するなど、文学界で高く評価されている。中でも、己斐を舞台として昭和53年（1978年）に発表した『それいけズッコケ三人組』は、後にシリーズ化され、発行部数は50巻、累計2,300万部を超える戦後の日本児童文学最大のベストセラーとなった。 平成19年（2007年）には、地方を拠点として活動する作家として初めて日本児童文学者協会会長に就任した。 また、原爆が投下された当時の広島の町と人々の様子を詳細に記述した『絵で読む広島の原爆』や『屋根裏の遠い旅』、『折り鶴の子どもたち』など、戦争や原爆をテーマとした作品を発表するとともに、自らの被爆体験やヒロシマを語り継ぐことについての想いを講演会などを通じて伝え続けている。 さらに、『それいけズッコケ三人組』は、ゆかりの御影石像が平成21年（2009年）4月に同氏の同級生によってＪＲ西広島駅前に設置されるなど、己斐地区のまちおこしのシンボルとされている。

番号	氏名	住所	功績概要
3	ともたに　こうじ 伴谷　晃二	広島県 廿日市市	同氏は、広島市で生まれ、髙田三郎、オリヴィエ・メシアンなどの作曲家に師事し、平成4年（1992年）に「第2回国際作曲コンクール」に入選し、平成10年（1998年）には文化庁芸術祭音楽部門優秀賞を受賞するなど、広島を代表する作曲家として活躍している。 平成11年（1999年）8月には、世界音楽祭「オーガスト・イン・ヒロシマ’99」において、実行委員として同音楽祭の成功に尽力するとともに、平成18年（2006年）には、デルタ市街地の川をテーマに募集した「川のうた」の審査委員長を務め、その事業実施に協力した。 また、平成19年（2007年）には、『エルミタージュの回想、独奏尺八のために』が、ISCM-ACL（国際現代音楽協会、アジア作曲家連盟共催）の「World Music Days 2007 Hong Kong」に入選し、アメリカ、フランス、韓国などで度々演奏され、好評を博している。 平成21年（2009年）8月には、同氏が作曲、企画構成を手掛けた、世界で初めての神楽とオーケストラのコラボレーション『オロチ～火と水への讃歌～神楽とオーケストラのために～』が、広島交響楽団音楽監督である秋山和慶氏の指揮の下、広島で演奏され、多くの人々から高い評価を得た。
4	おおうえ　えいじ 大植　英次	ドイツ連邦共和国 ハノーバー市	同氏は、広島市で生まれ、小澤征爾、レナード・バーンスタインなどの指揮者に師事した後、ミネソタ管弦楽団音楽監督、北ドイツ放送フィルハーモニーの首席指揮者を歴任した。日本では、平成17年（2005年）に大阪フィルハーモニー交響楽団の音楽監督に就任し、活躍している。 同年7月には、世界の音楽祭の中で特に高い人気と格式を誇るワグナーの殿堂「バイロイト音楽祭」において、東洋人として初めて指揮するという快挙を成し遂げた。 また、同氏は帰国するたびに、市内の中学校や高等学校で音楽指導をボランティアで行い、子ども達に音楽の素晴らしさを伝えるとともに、多くの感動を与えている。
5	おがた　こういち 緒方　孝市	広島市 南区	同氏は、昭和61年（1986年）に広島東洋カープに入団し、23年という長きにわたり在籍し、平成21年（2009年）10月に引退した。 この間、度重なるけがを克服し、3年連続盗塁王、5年連続ゴールデングラブ賞を獲得するなど、日本を代表する走攻守三拍子のそろった選手として活躍した。 また、平成14年（2002年）から7年間にわたり、広島市民球場で行われるプロ野球公式戦の年間指定席を「緒方シート」として購入し、児童養護施設入所児童を招待した。

［団体］（６団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
1	広島市立国泰寺 中学校生徒会	広島市 中区 (57 年)	同会は、昭和 27 年（1952 年）4 月に青少年赤十字（JRC）に加盟して以来、青少年赤十字が掲げる健康・安全、奉仕、国際理解・親善という実践目標の下、ボランタリーサービスや海外助け合い募金、国際交流など多岐にわたる活動を行っている。こうした中、平成 19 年度（2007 年度）・平成 20 年度（2008 年度）に青少年赤十字全国モデル校として指定された。 また、平成 21 年（2009 年）には、「VS（ボランタリーサービス）カード」を発行し、VS シールが 20 枚たまると全校朝会で表彰を行うなど、生徒一人一人が同校の校訓である「実行の人」になることを目指し、様々な取組を行っている。
2	全日本空輸 株式会社	東京都 港区 (53 年)	同社においては、昭和 31 年（1956 年）6 月から、毎年社会貢献活動の一環として、客室乗務員と空港の地上スタッフが、広島赤十字・原爆病院を訪問して、被爆者への励ましを行っている。その際には、北海道から空輸した「しあわせ」・「幸福の再来」などの花言葉を持つすずらんの鉢植えと社員が手作りしたすずらんの押し花のしおりを届けており、この取組は、平成 21 年（2009 年）で 54 回目を迎えた。
3	すみれ会	広島市 中区 (34 年)	同会は、昭和 51 年（1976 年）1 月に広島市社会福祉協議会主催のボランティア養成講座の修了生が設立した団体であり、広島赤十字・原爆病院において、洗濯の奉仕活動を続けている。 毎週木曜日に会員が交代で、原爆で一人暮らしになった入院患者の衣類を洗濯する奉仕活動を行っており、平成 21 年（2009 年）で 33 年目を迎えた。
4	広島銘水研究会	広島市 安芸区 (27 年)	同会は、昭和 57 年（1982 年）4 月に発足し、太田川や瀬野川の水質調査や水環境の評価などを行うとともに、地域住民と共同で名水周辺の清掃や保護活動、名水鑑定会を開催するなど、名水の普及活動や水質保全活動を展開している。 また、原爆慰霊碑等への献水活動に取り組んでいた宇根利枝氏との交流を契機に、原爆死没者へ捧げる水は、献水としてふさわしい清冽な名水でなければならないとの思いを抱き、昭和 62 年（1987 年）以降、献水の水源での水質調査を始めるなど、献水の水質保全のための活動を続けている。 平成 21 年（2009 年）6 月には、この「原爆献水の水源での水質調査」を 22 年間続けてきた実績が評価され、第 11 回日本水大賞審査部会特別賞を受賞した。

番号	団体名	所在地 (表彰日時点の活動年数)	功績概要
5	広島市要約筆記 サークルおりづる	広島市 佐伯区 (26 年)	同会は、昭和 58 年（1983 年）4 月に、聴覚障害者の福祉と文化の向上に努めることなどを目的として設立された団体であり、これまでに、学校の授業や企業研修における要約筆記、市内外の要約筆記奉仕員養成研修への講師派遣などを行っている。 また、各種講演会や式典、身体障害者スポーツ大会をはじめ、平成 11 年（1999 年）からは、本市のタウンミーティングの運営に協力するなど、様々な要約筆記活動を行っている。
6	ヒロシマピース ボランティア	広島市 中区 (10 年)	同会は、平成 11 年（1999 年）4 月に設立された団体であり、広島を訪れる修学旅行生や観光客等に対し、平和記念資料館の展示資料や平和記念公園内の慰霊碑・記念碑の解説等を行っている。 平成 20 年度(2008 年度)末までに、67,000 人余りに対し解説等を行い、来館者等から分かりやすい解説とスムーズな案内であるとの高い評価を受けている。

平成20年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（７名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	秋山（あきやま）　和慶（かずよし）	東京都 世田谷区	同氏は、昭和39年（1964年）2月に東京交響楽団の指揮者としてデビューし、その後、同団の音楽監督・常任指揮者やバンクーバー交響楽団音楽監督などを歴任した。 これまでに、サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞などの著名な賞を受賞しており、平成13年（2001年）11月には、広く日本の音楽文化に貢献している点が評価され、紫綬褒章を受章した。 平成10年（1998年）から広島交響楽団の首席指揮者・ミュージックアドバイザーに、平成16年（2004年）からは音楽監督・常任指揮者になり、10年にわたり同団の定期演奏会やロシア、韓国での公演などで指揮をしている。 平成20年（2008年）9月のＧ８議長サミット記念コンサートを指揮し、多くの聴衆から喝采を浴びた。
2	上田（うえだ）　宗冏（そうけい）	広島市 西区	同氏は、広島市で生まれ、昭和47年（1972年）に戦国武将茶人上田宗箇が興した上田宗箇流の家元若宗匠を継承して以来、中国・重慶市の日本庭園内茶室や広島市からドイツ・ハノーバー市に寄贈した茶室「洗心亭」の監修などを行っている。 平成7年（1995年）に16代目家元を継承してからも、世界各国で茶の湯の紹介、披露を行うなど、国内外で上田宗箇流の指導・普及に努めている。 平成17年（2005年）から江戸初期に広島城内にあった上田家上屋敷の書院や茶寮和風堂の構成を再現する改修を行い、平成21年（2009年）春には特別公開を行う予定である。 平成20年（2008年）9月には、Ｇ８下院議長会議のため来広した各国議長を上田宗箇流御点前でもてなし、武家茶の紹介を行った。
3	山本（やまもと）　浩二（こうじ）	東京都 世田谷区	同氏は、広島市で生まれ、昭和44年（1969年）に広島東洋カープに入団し、カープ一筋18年という長きにわたり活躍した。この間、通算盗塁231、本塁打王4回、ゴールデングラブ賞10回と走攻守三拍子そろった選手として5回のリーグ優勝に貢献した。その後、野球解説者を経て、監督に就任し、平成3年（1991年）にはカープをリーグ優勝に導いた。 平成20年（2008年）1月には野球殿堂入りを果たした。

番号	氏名	住所	功績概要
4	部谷（へや）　京子（きょうこ）	東京都 世田谷区	同氏は、広島市で生まれ、映画の美術監督として平成 4 年（1992 年）に『シコふんじゃった』でデビューし、平成 9 年（1997 年）に『Shall we ダンス？』で日本アカデミー賞最優秀美術賞を受賞した。 平成 14 年（2002 年）には、原爆をテーマにした作品である『鏡の女たち』に携わったことをきっかけとして、平成 17 年（2005 年）以降は毎年、原爆犠牲者の鎮魂のため、懐かしい広島の風景等を影絵で表現する「小さな祈りの影絵展」を広島市内で開催している。 平成 20 年（2008 年）には、『それでもボクはやってない』で 2 度目の日本アカデミー賞最優秀美術賞を受賞した。
5	見延（みのべ）　典子（のりこ）	広島市 佐伯区	同氏は、大学の卒業論文で小説『もう頬づえはつかない』を執筆し、これがベストセラーとなり、後に映画化された。 結婚を契機に広島市に移り住み、その後も執筆活動を続け、平成 13 年（2001 年）には、頼山陽の母の生涯を綴った『すっぽらぽんのぽん』で頼山陽記念文化賞を受賞した。 また、江戸時代後期の日本を代表する漢学者である頼山陽の一生を描いた『頼山陽』は、郷土の偉人である頼山陽の人間像を多くの広島市民に伝えた。この小説は、平成 20 年（2008 年）5 月に第 27 回新田次郎文学賞を受賞し、文学界で高く評価されている。
6	細川（ほそかわ）　俊夫（としお）	長野県 北佐久郡軽井沢町	同氏は、広島市で生まれ、昭和 51 年（1976 年）からドイツへ留学し、以後ヨーロッパと日本を拠点に作曲活動を展開している。 海外では早くからラインガウ音楽賞やムジカ・ヴィヴァ賞などの著名な賞を受賞している。 平成 14 年（2002 年）には、原爆の凄惨さと平和への祈りを表現した曲『ヒロシマ・声なき声』を作曲した。この曲は、同氏の様々な音楽思想が集約されたものとして国際的にも高く評価されている。国内では、被爆 60 周年に当たる平成 17 年（2005 年）7 月に本市において初演され、その際自らが指揮した。 平成 20 年（2008 年）3 月には、世界の最前線で活躍し、日本の若手音楽家を支援している点が評価され、第 39 回サントリー音楽賞を受賞した。

番号	氏名	住所	功績概要
7	森（もり）　浩昭（ひろあき）	広島市 中区	同氏は、平成5年（1993年）11月から、障害者作業所の製作品を一般企業の店頭などで販売する活動「僕らのアトリエ」を始めた。 その後、廃棄物として捨てられていたかまぼこ板を作業所に提供し、その作業所は、同氏からの商品開発のアドバイスを受け、木製メモスタンド「折り鶴の少女」の開発を行った。 同氏の働き掛けにより、市内の企業がペットボトル、コピー用梱包紙などの廃棄物を製作物の材料として作業所に提供していく動きが広がっている。 障害者施設の自立経営を目指し、企業と福祉施設の関係をコーディネートしている同氏の活動は、これからの障害者福祉の進むべき方向性に大きな手掛かりを与えるものとして高い評価を受けており、平成18年（2006年）には読売福祉文化賞大賞を、平成19年（2007年）12月には第4回精神障害者自立支援活動賞（リリー賞）を受賞した。

［団体］（３団体）　（敬称略）

番号	団体名	所在地	功績概要
1	社団法人 広島県医師会	広島市 西区	同会は、海外在住の被爆者を支援するため、昭和52年（1977年）から、北米において、被爆者への健康診断、健康相談などを隔年で実施している。 また、昭和60年（1985年）から、南米においても、ほぼ隔年で同様の医療支援に取り組んでいる。 平成20年（2008年）10月で、北米・南米の被爆者への医療支援は30回目を迎えた。 「被爆者はどこにいても同じ被爆者、どこの被爆者にも同じ医療を」という人道的観点に立って、来年は、更に活動範囲を拡大し、北朝鮮への医療支援を計画している。 また、核戦争を防止し核兵器の廃絶を求める地球規模の医師組織の連盟で、昭和60年（1985年）ノーベル平和賞受賞団体であるＩＰＰＮＷ（核戦争防止国際医師会議）の日本支部を同会内に設置するなど、ＩＰＰＮＷの活動を支援している。
2	ニュー双葉美容室	広島市 南区	同美容室は、昭和32年（1957年）から盆前と年末の年2回、先代社長の発意により、被爆者を励ますために、原爆病院（現広島赤十字・原爆病院）で髪のセットや化粧などの美容奉仕活動を行ってきた。 先代社長が亡くなった昭和57年（1982年）以降も、二代目社長が先代の遺志を受け継ぎ美容奉仕活動を続けており、平成20年（2008年）7月で101回目を迎えた。

番号	団体名	所在地	功績概要
3	広島市立幟町 中学校生徒会	広島市 中区	「原爆の子の像」は、佐々木禎子さんの母校である同校の生徒会が中心となって建立運動を行い、昭和 33 年（1958 年）に完成した。 広島市内の小中学生が集まって開催してきた「原爆の子の像」の碑前祭を、平成 10 年（1998 年）からは、同生徒会が中心となって運営しており、今年で 10 周年という節目の年を迎えた。 また、同生徒会は、「原爆の子の像」に供えられている折り鶴に込められた平和の願いを永遠に引き継ぐことを目的として、募金活動を行い、平成 12 年（2000 年）には、「折り鶴の碑」を校内に建立した。以来、佐々木禎子さんの命日である 10 月 25 日の前後には、毎年、平和集会を開催している。 また、同生徒会は、平成 9 年（1997 年）から毎年盛岡市の中学生と、平成 14 年（2002 年）から隔年で沖縄市の中学生と、平成 16 年（2004 年）から毎年東京の小学生と、平和交流会を開催している。

平成19年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（７名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	田邊（たなべ）　雅章（まさあき）	広島市 西区	同氏は、平成15年（2003年）5月、爆心地だった旧猿楽町の原爆投下直前の風景をコンピュータグラフィックス（CG）で復元し、日本語と英語で紹介する映像を制作した。 この映像を国内外に広く紹介するとともに、平成15年（2003年）に本市に寄贈した。 また、平成19年（2007年）4月には、原爆投下直前の広島の街並みが一瞬で破壊される様子をCGで詳細に復元した作品が米国ニューヨークの国連本部で上映され、米国などで大きな反響を呼んだ。
2	中沢（なかざわ）　啓治（けいじ）	埼玉県 所沢市	同氏は、35年にわたり「はだしのゲン」、「黒い雨にうたれて」など原爆や平和をテーマとする作品を制作し続けるとともに、自ら若者向けのトークライブを行うなど世界平和を訴えてきた。 「はだしのゲン」は、現在、英語・フランス語を始め、様々な言語に翻訳され、また、日本国内においても単行本・文庫本などを含め、累計で約1,000万部を超えるベストセラーになっており、平成19年（2007年）年8月にはテレビドラマ化された。
3	佐々木（ささき）　雅弘（まさひろ）	福岡県 筑紫郡	同氏は、「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの心を伝えるための「語り部」として各種イベント等を通し、子供たちを中心に禎子さんの生涯を紹介している。 平成19年（2007年）9月には、米国ニューヨークの同時多発テロ跡地を訪れ、禎子さんが折って手元に残っている5羽の折り鶴のうちの1羽を寄贈し、平和を訴えた。 このことは、米国の各種メディアで報道され、米国民を始めとする多くの人に感動を与えた。
4	スティーブン・ オカザキ	アメリカ合衆国 カリフォルニア州 バークレー市	同氏は、ロサンゼルス生まれの日系3世米国人で、四半世紀にわたって広島・長崎の被爆地に通い500人以上の被爆者と会って取材し、平成19年（2007年）にドキュメンタリー映画「ヒロシマナガサキ」を制作した。 この映画は、米国ニューヨークの国連本部で上映されるとともに、米国約4,000万世帯が加入するケーブルテレビ（Home Box Office）で放映され、米国での反響は極めて大きなものであった。

番号	氏名	住所	功績概要
5	前田（まえだ）　智徳（ともの り）	広島市 中区	同氏は、平成 19 年（2007 年）9 月、プロ入り 18 年目にして、プロ野球史上 36 人目となる通算 2000 本安打を達成し、名球会入りを果たした。 平成 2 年（1990 年）の入団以来、選手生命を脅かすほどの度重なる負傷を乗り越え、今回の偉業を達成した。
6	林（いむ）　五卿（おきょん）	広島市 中区	ハンドボールで世界トップレベルにある韓国ナショナルチームの中心選手であった同氏は、平成 8 年（1996 年）に広島メイプルレッズの監督兼選手となり、以来 11 年間で日本リーグ優勝 8 回、全日本実業団優勝 7 回、国民体育大会優勝 1 回、全日本総合優勝 7 回など輝かしい成績を収め、広島メイプルレッズを名実ともに日本一のチームに育てあげた。
7	佐々岡（ささおか）　真司（しんじ）	広島市 西区	同氏は、平成元年(1989 年)、広島東洋カープに入団して以来、最優秀選手（MVP)、最多勝利、最優秀防御率等の輝かしいタイトルを受賞するとともに、平成 18 年(2006 年)5 月には、プロ野球史上 2 人目の先発 100 勝 100 セーブという快挙を達成した。 平成 19 年(2007 年)10 月、18 年間の現役生活を引退したが、同年 11 月には、プロ野球セントラルリーグの発展に貢献したとして、同リーグの特別功労賞を受賞した。 平成 14 年(2002 年)から引退するまでの 6 年間、広島市民球場で行われるプロ野球公式戦の年間指定席を「佐々岡シート」として購入し、母子家庭の親子を招待した。

［団体］（５団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地	功績概要
1	学校法人広陵学園 広陵高等学校 硬式野球部	広島市 安佐南区	同部は、選抜高等学校野球大会(春)において、優勝 3 回、準優勝 3 回、全国高等学校野球選手権大会(夏)では準優勝 2 回など、全国でも有数の強豪校として勇名を馳せている。 平成 19 年（2007 年）8 月開催の第 89 回全国高等学校野球選手権大会では、監督と選手、選手同士が強い信頼関係で結ばれてこそ成せる「ノーサイン野球」を実践し、接戦の末、優勝候補に勝利して 3 回目の準優勝に輝いた。

番号	団体名	所在地	功績概要
2	特定非営利 活動法人 ANT-Hiroshima	広島市 中区	同団体は、平成元年（1989 年）の設立以降、アフガニスタン・パキスタン等への復興支援や平和教育活動などに取り組んでいる。 平和記念公園の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんの生涯を描いた絵本「サダコの祈り」を、平成 18 年（2006 年）にはウルドゥ語（パキスタンの公用語）に、平成 19 年（2007 年）にはダリ語（アフガニスタンの公用語）に翻訳・出版し、それぞれの現地の学校を通じ、読み聞かせをしながら子供達に配布した。 これがきっかけとなり、パキスタンでは現地 NGO が「サダコトラスト（基金）」を設立し、大地震による被災地で学校を建設する活動として発展している。
3	ひろしま カンボジア 市民交流会	広島市 西区	同会は、12 年の歳月をかけ、募金などにより建設資金を集めながら、平和を願う広島市民とカンボジア市民との交流の拠点として、平成 19 年（2007 年）に「ひろしまハウス」をカンボジアに建設し、原爆ポスター展を開催した。 また、カンボジアにおいて平和スクールの開催や日本語学校の生徒との交流などを行うとともに、平成 8 年（1996 年）9 月にカンボジアで発生した大水害の被災地に物資援助を行うなど、国際交流・協力活動に地道に取り組んでいる。
4	広島市立二葉 中学校生徒会	広島市 東区	平成 15 年（2003 年）から、同生徒会の発案により「ボランティア手帳」を作成し、毎週金曜日、生徒が自主的に校内や学校周辺の道路を清掃する活動を行っている。また、同生徒会が中心となって地域に花を植える「花ボランティア活動」にも取り組んでいる。活動に参加した後は、「ボランティア手帳」に活動内容の記録を残すことで参加生徒の大きな励みとなっている。 同生徒会が発案した「ボランティア手帳」は広島市教委発行の「さわやかボランティア手帳」のモデルとなった。 また、平成 18 年度（2006 年度）から、同生徒会の発案により広島駅南口から平和記念公園まで清掃を行う「平和大行進ボランティア」を行っており、今年度はこの活動を更に発展させ、近隣の中学校を巻き込んで実施している。

番号	団体名	所在地	功績概要
5	広島市立舟入 高等学校演劇部	広島市 中区	43 年にわたり、定期公演等において、平和をテーマにした創作劇を継続して上演している。 平成 19 年（2007 年）8 月 6 日、広島国際会議場で開催された「ヒロシマの心を世界に」において、生徒と顧問との共同により創作した作品「CRANES（鶴）」を上演し、海外からの招待客等の喝采を浴びた。 同部は、第 46 回広島県高等学校総合演劇大会で金賞を、第 44 回中国地区高等学校演劇発表大会（いずれも平成 18 年度（2006 年度））で優秀賞を受賞している。

平成 18 年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（３名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	はらだ　てるみ 原田　照美	広島市 安佐南区	平成８年から、細坂町内会及び細坂町内会自主防災会の会長を務め、平成１７年からは沼田町伴地区町内会連合会及び自主防災会連合会の会長として地域の防災対策に努めている。とりわけ、阪神・淡路大震災を契機に、「わがまち防災マップ」の作成にあたり、災害弱者対策として、老人世帯などの世帯を調査し、安全な避難経路を検証するなど、実態に即した独創的なマップの充実に尽力した。また、「生活避難場所運営マニュアル」を作成し、住民避難訓練を積極的に実施するなど、災害に対する警戒避難体制の整備に尽力している。
2	ななだいきんじょういっこくさい 七代金城一国斎 （いけだ　あきと 池田　昭人）	広島市 中区	初代金城一国斎から２００年近く「高盛絵」という一子相伝の漆芸では全国でも二番目に古い独特の漆工芸を守り続けている。平成３年に、同氏が七代目を襲名して以来、伝統的な技法に香川県漆研究所で学んだ漆の技法を取り入れた独自の作風を築いてきた。平成４年に日本伝統工芸展に初入選以来、数々の賞を受賞している。また、平成１７年からは市立大学芸術学部非常勤講師を勤めるなど伝統工芸の継承と人材育成にも寄与している。
3	くろだ　ひろき 黒田　博樹	広島市 中区	平成 9 年にドラフト 2 位で広島カープに入団後、平成 13 年から 3 年連続 2 ケタ勝利を飾ったほか、平成 15 年から 4 年連続開幕投手を務めるなど中心投手としてチームをけん引してきた。さらに、平成 17 年には最多勝、平成 18 年の今季はセリーグで17年ぶりの防御率1点台で最優秀防御率を獲得している。黒田選手の相手バッターに真正面から挑むその力強い姿は、広島カープファンのみならず多くの市民に感動を与え続けている。

［団体］（５団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地	功績概要
1	安佐南防犯 組合連合会	広島市 安佐南区	昭和５６年４月に「広島北防犯組合連合会」を設立（今年５月に名称を「安佐南防犯組合連合会」に変更）し、以後 26 年にわたり安佐南区内の地域安全活動などを行っている。平成１６年度から２年間、広島県と広島市の共同事業である「減らそう犯罪」住民・行政・警察協働モデル事業実施地区の指定を受け、事業の活動母体となる「『減らそう犯罪』安佐南まちづくり協議会」が設置され、同連合会はその中心的な役割を果たした。現在は、同協議会の活動を引き継ぎ、積極的な活動を行っている。
2	江波地域 安全推進委員会	広島市 中区	平成１５年２月に広島市中区江波地区の保護司が中心となり、保護司、更生保護女性会員、町内会長等、地域住民約４０人で設立され、少年の健全育成や非行防止を目的に、夜間見回りや地域見守り活動を実施している。設立当初から地区内の小中学生の下校の見守りや溜り場などの見回りを行っているほか、定期的な夜間見回り活動を通じ、コンビニ駐車場などにたむろしている少年に早期帰宅を促している。また、本年から地域の他団体が行っている子どもの見守りに協力し、小学生の登校時の見守りや朝の声かけ、交通安全指導を行っている。
3	亀山南地区防犯 パトロール隊	広島市 安佐北区	平成１７年３月５日設立。平成１３年６月、亀山南自治連合会を中心に、地域の子どもは地域で守ることを目的として、毎月１日を児童や高齢者の見守り活動・挨拶運動街頭指導の日として活動を開始。平成１７年３月、正式に「亀山南地区防犯パトロール隊」を結成し、青色回転灯車両による防犯パトロールや、ＰＴＡ等と共同した街頭見守り活動などを継続して行い、地域の安全に貢献している。（同パトロール隊の活動は、平成１７年５月、警察庁の地域安全安心モデル事業に選定されている。）
4	広島環境 サポーター ネットワーク	広島市 西区	広島市環境サポーターとしての資質向上などを目的に設立。環境への市民の関心を高めるため、行政などが実施する数多くの環境保全事業に参画し、リサイクル工作など市民にわかりやすい手法で普及啓発活動に努めている。また、市が実施する広島地球ウォッチングクラブ環境学習会等のイベントに講師を派遣するなど、本市の事業実施に貢献するとともに、環境保全活動とその普及啓発活動にも寄与している。さらに、自主的な河川調査などによりデータの蓄積を行い、研究機関などへ積極的に情報発信も行っており、環境活動団体として高い評価を得ている。

番号	団体名	所在地	功績概要
5	広島市立日浦 中学校生徒会	広島市 安佐北区	平成１２年、夏休みに足の手術を受けた同校の１年生の生徒が、手術後、車椅子で初めて院内を散策することができた感動から、アルミプルタブを集め、業者に買い取ってもらったお金で車椅子を購入し、車椅子を必要とする人に贈ろうと一人で活動を始めた。その後、活動はクラスの中に、さらに、学校全体へと広がり、平成１４年４月からは生徒会としての活動となった。平成１３年から今年まで５２台の車椅子を国内外の病院や社会福祉施設等へ寄贈している。この活動は、アルミ缶の集積から、車椅子の贈呈まで全てを生徒会が行い、現在では「アルボラ」（アルミ缶回収ボランティアから名付けられた活動名称）を合言葉に、地域住民などの協力も得ながら活動を続けている。

平成17年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（６名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	佐伯（さえき）　敏子（としこ）	広島市 東区	昭和30年頃から40年以上にわたり、約7万人の遺骨が眠る原爆供養塔に毎日バスで１時間半かけて通い、清掃奉仕活動を続けた。 なお、現在は自宅療養中のため、直接的な清掃奉仕活動は休止しているが、佐伯氏の活動に共鳴した二人の市民に引き継がれている。 また、原爆供養塔、平和記念公園、公民館、自宅などで約20年にわたり被爆体験証言を行い、平和の尊さを次の世代に訴え続けている。
2	坪井（つぼい）　直（すなお）	広島市 西区	自身の原爆症とたたかいながら、核兵器廃絶に向け、国の内外において積極的活動を展開し、被爆60周年の今年5月には、80歳という高齢にも関わらず、核拡散防止条約再検討会議に合わせて訪米、ニューヨークで約4万人規模のパレードの先頭に立ち、核兵器廃絶を全世界に向けて強くアピールした。
3	庄野（しょうの）　直美（なおみ）	広島県 廿日市市	原爆投下後の廃墟となった広島での体験を原点に、原爆被害の研究と平和活動に取り組み、原爆症や被爆建物の調査を進め、「人類共存を実現しよう」ほか多数の著作を発表し、反核・平和運動の理論的支柱となっている。 また、被爆関係出版物の監修などを通じて、本市の事業にも大きく貢献した。このほか、昭和60年、被爆40周年を機にヒロシマ・ナガサキ平和基金を設立し、被爆60周年の今年まで、20 年にわたり市民の平和運動の助成を続けた。
4	横路（よころ）　謙次郎（けんじろう）	広島市 南区	50余年にわたり放射線発癌研究に取り組み、我が国の実験発癌研究の中心的役割を果たし、被爆者医療の向上に大きく貢献した。 また、被爆60周年の今年、広島でＩＰＰＮＷ（核戦争防止国際医師会議）北アジア地域会議を開催するなど、ＩＰＰＮＷでの核兵器廃絶運動の取り組みを通じて、世界平和に貢献した。

番号	氏名	住所	功績概要
5	空（そら）　辰男（たつお）	広島市 南区	長年にわたり被爆教職員の援護に携わり、その支えとなるとともに、平和を教育者の視点から研究し、数多くの著書を通じて平和教育の推進に力を注いでいる。 また、被爆した路面電車に乗りながら小中学生に被爆体験を語るなど、特色ある活動を続けている。 平成16年からは石田前会長の後を受け、広島県原爆被爆者教職員の会会長に就任、反戦をアピールするなど、会の先頭に立って積極的に平和運動を展開している。
6	野村（のむら）　謙二郎（けんじろう）	広島市 中区	昭和63年にドラフト１位で広島カープに入団後、広島カープ一筋に活躍、選手生命を脅かすほどの度重なる負傷を乗り越え、中心選手としてチームをけん引し、プロ入り17年目の今年６月、球団史上３人目、プロ野球史上通算33人目となる2000本安打を達成し、市民に大きな感動と希望を与えた。

［団体］（２団体）　（敬称略）

番号	団体名	所在地	功績概要
1	平和のための ヒロシマ通訳者 グループ	広島市 中区	外国語を世界平和に貢献するための手段と位置付け、海外からの来広者への被爆体験の通訳、平和記念公園等のガイド、各種講演会での通訳のほか、ＣＤ付英語ガイドブックを廉価で製作・出版するなど、被爆体験と平和への願いを海外の人々に伝える活動を幅広く行っている。 また、平和記念式典における外国人の案内や「国際交流・協力の日」への協力など、本市の事業推進にも積極的に貢献している。
2	ももくさ会 （広島市公立 保育園退職 園長の会）	広島市 安芸区	広島市公立保育園長の退職者が、保育園での経験等を活かして子育て支援に貢献しようと平成７年に設立、活動開始後の10年間で650回、延べ6,560人もの親の相談に応じ、子供の育て方がわからず精神的に不安定になり、児童虐待につながるようなケースに対しても、長年培ってきた経験を活かしてメンタル面のケアを行うなど、他の育児サークル等ではできない活動を展開している。

平成16年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（２名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	宇根（うね）　利枝（としえ）	広島市 南区	昭和30年(1955年)に市内の原爆死没者の慰霊碑に献水を始め(当初は5～6箇所)、以来、長年にわたり約120箇所の慰霊碑への献水を続け、被爆者の慰霊と被爆体験の継承に努めた。 今年、宇根氏の活動に共鳴した若者に活動を引き継いでいる。
2	嶋（しま）　重宣（しげのぶ）	広島市 中区	度重なる負傷を乗り越え、今シーズンの開幕直後から首位打者に立つなど猛打を続け、シーズンを通してチームをけん引し、そして、プロ入り10年目にして、平成16年(2004年)のセ・リーグの首位打者、最多安打のタイトルを獲得した。その活躍により多くの市民は元気づけられた。

［団体］（２団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地	功績概要
1	あいの友	広島市 佐伯区	平成2年(1990年)に視覚障害者（弱視者）のための拡大写本の製作活動を始め、これまでに教科書など約600冊の拡大写本を提供してきた。 ボランティア製作の拡大写本は、弱視児童・生徒にとって欠かすことのできないものであるが、点字を利用する視覚障害者に比べ、弱視の視覚障害者への支援は一般的に知られておらず、拡大写本を製作するボランティア団体は、県内で唯一である。
2	ひろしま おもちゃ病院	広島市 安佐南区	ものの大切さを知ってもらうことを目的に、昭和53年(1978年)に祇園公民館（安佐南区）でおもちゃの無料修理のための病院を開設し、公的施設や地域のイベントで出張診療をするとともに、現在では亀山公民館（安佐北区）、五日市公民館（佐伯区）にも病院を開設している。

平成15年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（１名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	矢川（やがわ）　光則（みつのり）	広島市 安佐南区	ピアノ調律師という専門性を生かし、廃棄されるピアノを再生し、福祉施設や学校に寄贈する社会奉仕活動を続け、これまでに９８台を寄贈している。

［団体］（３団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地	功績概要
1	たのしい工作室 インストラクター の会	広島市 中区	こども文化科学館の「たのしい工作室」のボランティアのインストラクターグループとして、主に幼児から小学生低学年の児童及びその親を対象に、紙や木などの身近な材料やリサイクル品などを使った工作の指導を年間約６０回行っている。「たのしい工作室」は、「親と子の創作する楽しみの場」として多くの参加者から好評を博している。 「たのしい工作室」の運営は、工作の内容や材料の準備などを含めてインストラクターが自主的に行っており、会員相互の研鑽と協力により、事業推進に積極的な役割を果たしている。
2	広島市都心部環境 浄化対策協議会	広島市 中区	本通りやアリスガーデンなどで集会を行う暴走族に対し、帰宅を促す「声かけ運動」に組織的に取り組んでいる。 その結果、暴走族のい集・集会が激減するなど市民生活の安全確保に大きな役割を果たしている。
2	広島ジュニア マリンバ アンサンブル	広島市 西区	小学生から高校生を中心とするグループで、学校、福祉施設、児童館、公民館などでのボランティアコンサートを年間７０回以上開催するなど、活発な社会奉仕活動を行っており、収益があるときは、ユニセフを通じて寄付を行っている。 また、「ヒロシマ国際平和文化活動推進団体」として、カーネーギーホールでの「日米音楽親善ユニセフチャリティコンサート」やフランス平和自治体協会の招待によるフランス８都市での平和コンサートに出演するなど、マリンバ演奏を通じてヒロシマの心を世界に発信していく活動を展開し、市政の推進に積極的な協力を行っている。

平成14年度広島市民賞受賞者名簿

［個人］（３名）　　（敬称略）

番号	氏名	住所	功績概要
1	井上（いのうえ）　わこ	広島市 中区	昭和５７年に交通事故により失明するが、逆境を乗り越え、６２年に歌手デビューを果たす。 昭和６３年に盲導犬普及活動に取り組み、平成１４年までに盲導犬１５頭及び盲導犬育成犬舎１棟を寄贈し続けるとともに、老人ホームや障害者施設の慰問などの訪問活動は３００回を超え、持参した手編みのマフラーも１５，０００本に及んでいる。盲導犬寄贈目標２０頭に向けて熱心に活動している。
2	沖田（おきた）　孝司（たかし）	広島市 安佐北区	平成７年（１９９５年）にマイ･ハート弦楽四重奏団を結成し、広島県内全８６市町村巡回を目標に「マイ・ハート・コンサート」を開催する傍ら、小・中学校、高校、成人式、公民館での「トーク＆コンサート」は３００回を超え、原爆養護ホーム、病院等で年間１０数回に及ぶボランティアコンサートを開催している。 コンサートでの収益金は、NPO 広島骨髄バンク等に寄付している。
3	長谷川（はせがわ）　良平（りょうへい）	広島市 中区	昭和２５年に広島カープにテスト入団して以来、広島カープ創生期の主力選手として１４シーズンにわたり活躍し、通算１９７勝をあげ、監督も努めるなど、戦後の復興期に広島市民の希望をつなぐ大きな力となった。平成１３年(２００１年)には野球殿堂入りした。

［団体］（１団体）　　（敬称略）

番号	団体名	所在地	功績概要
1	ラッピー友の会 HIROSHIMA	岡山県	「広島国際アニメーションフェスティバル」の公式ボランティアとして、大会運営に参画し、市民レベルで大会を盛り上げ、広島の文化意識の向上に努めることを目的とし設立された団体で、「もりあげボランティア活動」や「もてなしボランティア活動」「本大会支援ボランティア活動」など、市民の立場で様々な支援活動を行っている。